

第26回
FDフォーラム
報告集

第6分科会

with/after コロナ時代の教育開発支援

報告者

石川 保茂 氏 京都外国語大学 外国語学部 英米語学科 教授

中原 学 氏 京都外国語大学 法人部 施設管財課 情報システム推進担当 主幹

松浦 健二 氏 徳島大学 情報センター 教授

岩崎 千晶 氏 関西大学 教育推進部 准教授

コーディネーター・報告者

西野 毅朗 氏 京都橘大学 教育開発支援センター/
現代ビジネス学部 経営学科 専任講師

コーディネーター

畑田 彩 氏 京都外国語大学 外国語学部 英米語学科 准教授

P 1～ 趣旨説明 畑田 彩氏

P 7～ 報告1. コロナ下における教育開発支援センターの挑戦 岩崎 千晶 氏

P17～ 報告2. 大学情報センターとしての取組事例 松浦 健二 氏

P23～ 報告3. 中規模私立大学の教育開発支援センターの取組事例

西野 毅朗 氏

P31～ 報告4. 教育支援の教員組織を持たない大学の試み

石川 保茂 氏・中原 学 氏

P84～ 質疑応答まとめ

with/afterコロナ時代の教育開発支援

コーディネーター

西野 毅朗(京都橘大学)

畑田 彩(京都外国語大学)

➤ はじめに

「新型コロナウイルス」の感染拡大

私たち人類にとって未曾有の危機

グローバル化によってウイルスは日本にも侵入・拡大

2020年4月16日

全国に緊急事態宣言が発令

不要不急の外出を控える「外出自粛」が浸透

要・急であるはずの大学教育も大きな影響を受ける

文部科学省からの通知(その1)

令和2年3月24日

令和2年度における大学等の授業の開始等について

3. 遠隔授業の活用について

(1) 今後、学生の学修機会を確保するとともに、感染リスクを低減する観点から、いわゆる面接授業に代えて、遠隔授業を行うことが考えられること。

➡ **文科省は遠隔授業を推奨**

(3) 新型コロナウイルス感染症対策としての遠隔授業は、学内の十分な理解の下で取り組むことが重要であることから、大学等の経営部門、教学部門、情報基盤センター等の遠隔授業推進部門など、関係組織間の緊密な連携が期待されること。

➡ **文科省は「遠隔授業推進部門」があることを前提にしている**

https://www.mext.go.jp/content/20200324-mxt_kouhou01-000004520_4.pdf

文部科学省からの通知(その2)

令和2年4月1日

学事日程等の取扱い及び遠隔授業の活用に係るQ&A

問6

遠隔授業の実施方法として、教科書や教材による学修を一定時間自宅において行わせただうえで、メールや掲示板等を用いて質疑応答等を行うことは許容されるか。

法令上、遠隔授業の一部において、教科書や教材による学修を自宅において行わせることが禁止されるものではございませんが、…

(中略)

印刷教材その他これに準ずる教材を送付若しくは指定し、主としてこれにより学修させる授業(印刷教材等による授業)、面接授業、メディアを利用して行う授業(遠隔授業)が、別の方法として区別されていることを踏まえると(一部割愛)、**単に印刷教材等の送付により授業が完結することは想定しておらず、毎回の授業の実施に併せて質疑応答等による指導を行う必要があります。**

https://www.mext.go.jp/content/20200401-mxt_kouhou01-000004520_6_1.pdf

➤ 以上まとめると・・・

感染リスクの軽減のため、遠隔授業が望ましい。すでにあるとされている「遠隔授業推進部門」が、経営部門、教学部門との協働のもと、遠隔授業であっても双方向性を担保した授業を行わなくてはならない。

どうやって？

➤ 「新型コロナウイルス」に対する大学の対応

授業の開始時期の延期

	授業の開始時期を延期	例年通りの時期で実施	
		遠隔授業を実施・検討	その他感染予防に配慮
国立大学	69校 (92.0%)	6校 (8.0%)	0校
公立大学	60校 (83.3%)	12校 (16.7%)	0校
私立大学	533校 (91.1%)	64校 (10.6%)	4校 (0.7%)
全体	713校 (95.3%)	87校 (11.6%)	4校 (0.5%)

すぐに遠隔授業に移行できた大学は一部だけ

➡ 多くの大学は授業の検討・準備をする時間を確保

➤ 「新型コロナウイルス」に対する大学の対応

遠隔授業の導入

	遠隔授業を実施する	検討中	実施予定なし
国立大学	54校 (72.0%)	21校 (28.0%)	0校
公立大学	33校 (45.8%)	39校 (54.2%)	0校
私立大学	360校 (59.9%)	230校 (44.6%)	11校 (0.7%)
全体	478校 (63.9%)	315校 (42.1%)	11校 (1.5%)

➡ **ほぼすべて(98.5%)の大学が遠隔授業を実施または実施を検討すると回答**

[新型コロナウイルス感染症対策に関する大学等の対応状況について\(令和2年4月23日\) \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp)

➤ 学生・教員・大学がさまざまな問題に直面

学生

- ① ネット環境やデバイスの準備
- ② 履修登録・教科書購入・授業の受け方のガイドすべてがオンライン
- ③ 今まで受けたことのない授業体制への対応
- ④ 一人ですべてをやらなければならない孤独感

教員

遠隔授業への戸惑い・懐疑心

面接授業と同じ授業ができない！

- 授業デザインはどうなるのか
- 遠隔授業に用いるアプリは？
- そもそも遠隔でできない授業はどうする？
- 双方向性を図る方法は？
- 成績評価はどうするのか？

遠隔授業で効果的な授業ができるのか？

大学

- ① 遠隔授業の運営についての検討
- ② ICT設備・ネット回線などの拡充
- ③ 学生の遠隔授業を受ける環境の調査
(デバイス・ネット環境)
- ④ 遠隔授業を運営する教員・学生へのサポート

▶ 本分科会の目的とタイムスケジュール

**各大学が遠隔授業をどのように支援してきたのか、
どのような問題に直面し、どのように解決してきたかを
共有し、これからの大学教育について展望する。**

＜前半 話題提供 - 質問・意見など随時チャットで受けつけます＞

14:10	「コロナ下における教育開発支援センターの挑戦」 (関西大学 教育推進部 准教授 岩崎 千晶氏)
14:35	「大学情報センターとしての取組事例」 (徳島大学 情報センター 教授 松浦 健二氏)
15:00	小休憩
15:05	「中規模私立大学の教育開発支援センターの取組事例」 (京都橘大学 現代ビジネス学部経営学科 専任講師 西野 毅朗氏)
15:30	「教育支援の教員組織を持たない大学の試み」 (京都外国語大学 外国語学部英米語学科 教授 石川 保茂氏) (京都外国語大学 法人部施設管財課 情報システム推進担当 主幹 中原 学氏)

▶ 本分科会の目的とタイムスケジュール

**各大学が遠隔授業をどのように支援してきたのか、
どのような問題に直面し、どのように解決してきたかを
共有し、これからの大学教育について展望する。**

＜後半 ディスカッション＞

15:55	小休憩
16:00	ブレイクアウトルームでのグループディスカッション (参加者同士の事例や状況等の共有) …録画はしていませんので、忌憚なき議論を！
16:20	パネルディスカッション 「質問に対する報告者からの応答と主題の議論」
16:55	分科会閉会挨拶
17:00	終了

2021年2月27日

大学コンソーシアム京都 FDフォーラム2020

with/afterコロナ時代の教育開発支援

コロナ下における教育開発支援センターの挑戦 大規模私立大学を事例に



関西大学 教育推進部
岩崎千晶
ciwasaki@kansai-u.ac.jp

岩崎千晶 (Chiaki Iwasaki)




- 所属
関西大学 教育推進部
教育開発支援センター 准教授
- 専門
教育工学, 大学教育学, 学習環境デザイン
- 著書
『教育工学選書Ⅱ 教育工学における大学教育研究』(共著) ミネルヴァ書房 2020年
『大学のゼミから広がるキャリア: 構成主義に基づく「自分探し」の学習環境デザイン』(共著) 北大路書房 2020年
『主体的・対話的で深い学びの環境とICT』(共著) 東信堂 2018年
『教育の方法と技術: 学びを育てる教室の心理学』(共著) ナカニシヤ出版 2017年
『教育工学選書Ⅱ 大学授業改善とインストラクショナルデザイン』(共著) ミネルヴァ書房 2017年
『大学生の学びを育む学習環境デザイン』(編著) 関西大学出版部 2014年
『映像メディアのつくり方』(編著) 北大路書房 2008年 等
詳細は <http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~ciwasaki/>

関西大学

- 5キャンパス
(吹田, 梅田, 高槻MUSE, 高槻, 堺)
- 13学部 (法学・文学・経済・商学・
社会・政策創造・外国語・人間健康・
総合情報・社会安全・システム理工・環境都市工・化学生命工)
- 学生数 **28,369名**, 大学院生数 1,456名
- 教員数 **803名**, 職員数 485名(大学・法人)
非常勤講師 **1462名** (2020年5月1日現在)
- 付属幼稚園, 初等部, 中等部, 高等部, 関西大学北陽, 関西大学
第一中学・高校

教育開発支援センターにおける取り組み

- マクロ
 - 教育制度、方針の開発支援
- ミドル
 - IR
- ミクロ
 - カリキュラム開発支援
 - FDセミナー、授業コンサルテーション
 - FD教材 (eラーニング・テキスト) 開発
 - カリキュラムマネジメント
 - 授業アンケート
 - 学習支援
 - ライティングセンター
 - 学生スタッフの育成
 - 課外学習支援




コロナ禍における大学教育センターの取り組み例

【教員向け】

- FDセミナー（学内配信システム・YouTube Live…）
- FD相談会（対面・Zoom・メール・電話…）
- 役立つサイトをまとめたWebサイト制作
 - システムの操作方法&授業設計Tips（資料・動画の提供）
 - 著作権についての解説
- オンライン支援をするTAの導入（TA研修）
- オンライン授業実践に関するアンケート作成 等

【学生向け】

- オンライン相談
- システム操作資料・自主学習教材の提供
- オンライン授業実践に関するアンケート作成 等

教職員で
ワンチームとなり
実施

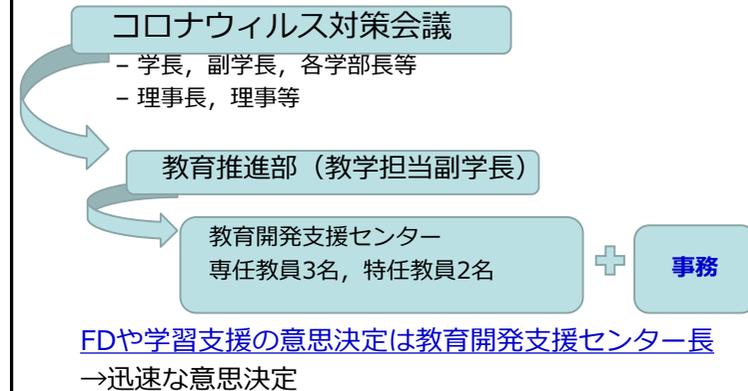
本日の流れ

1. 大学のコロナ対応方針
2. 2020年中のセンターやタスクフォースの実際の活動推移（教職員や学生がどのような問題を抱え、それにどのように対処していったかなど）
3. 活動の成果（授業アンケートの結果、学生の声など）
4. 2021年度以降のセンターやタスクフォースの在り方やビジョン

本日の流れ

1. 大学のコロナ対応方針
2. 2020年中のセンターやタスクフォースの実際の活動推移（教職員や学生がどのような問題を抱え、それにどのように対処していったかなど）
3. 活動の成果（授業アンケートの結果や、学生の声、など）
4. 2021年度以降のセンターやタスクフォースの在り方やビジョン

組織の関係性と意思決定



授業方針

- ① [2020年4月1週目, 2週目は休講決定 \(3/27\)](#)
- ② [4月3週目よりオンライン授業の開始決定 \(4/9\)](#)
- ③ 春学期はオンライン授業の実施決定 (4/30)
- ④ 定期試験を行わず、平常試験での総合評価が決定。 [シラバス変更期間](#)、[履修辞退期間](#)を提供 (5/15)
- ⑤ 6月以降、学部・研究科が決めた科目においては対面での授業実施が可能（実習・実験等） (5/28)
- ⑥ [秋学期以降、原則対面。250名以上の授業はオンデマンド](#)

2020年春学期 オンライン授業の3スタイル

教員が方法を決めるが、専攻・学部が決める場合も

①リアルタイムの遠隔授業

Web会議システム（Zoom 等）を活用し、配信される講義や双方向の議論をとおして学び、小テストや課題提出による理解度確認や質疑応答、学生同士の意見交換等を行う授業

②オンデマンド配信の授業

学生は講義動画やナレーション付き講義資料を視聴し、小テストや課題提出による理解度確認や質疑応答、学生同士の意見交換等を行う授業

③教材提示による授業

スライド資料など教材として学び、小テストや課題提出による理解度確認や質疑応答、学生同士の意見交換等を行う授業

関西大学「2020年度 春学期における取扱と対応について(まとめ)」http://www.kansai-u.ac.jp/it/archives/2020/06/2020_23.html (Accessed 2020.06.05)

2020年秋学期、2021年春学期の授業スタイル

- 原則対面授業
- 250名以上はオンデマンド授業
→250名以上大教室が空く
- 但し、配慮申請に基づきオンライン授業を実施

- ①対面授業
- ②オンデマンド配信の遠隔授業
- ③ブレンディッド型の授業
(例：対面授業&オンデマンド型授業、対面&リアルタイム配信)

ICT環境の現状

- 2019年度よりBYODを推奨
 - 関大LMS, Office365, ウィルスソフト, Dropbox, 講義配信システムの提供
 - 2019年度から新入生にノートPCの購入推奨

- Zoom包括契約（1クラス：300名まで）
- ノートPCの貸出, モバイルWi-Fiルーターの提供（個人負担2000円）
 - A学部：PC87% タブレット9% スマホ4%
- プリンターのない学生向けにコンビニ印刷支援を企画



本日の流れ

1. 大学のコロナ対応方針
2. 2020年中のセンターやタスクフォースの実際の活動推移（教職員や学生がどのような問題を抱え、それにどのように対処していったかなど）
3. 活動の成果（授業アンケートの結果や、学生の声、教職員の声など）
4. 2021年度以降のセンターやタスクフォースの在り方やビジョン

FD活動

時期とニーズに応じた
即時・柔軟なFD

FD講師は複数の教職員
でカバー

多くの大学が置かれていた状況

- 大学はオンライン授業で単位を出せる体制を整備していない
 - LMS 教員利用 約60%
 - 講義配信システム同時100アクセス
- 学生はオンライン授業のみで単位を取得する経験がない
- オンライン授業の実践をするには…**教員・学生**への支援を充実する必要がある！



①2020年4月1週目, 2週目は休講が決定 (3/27)

- ①**駆けつける** ②**体制を作る** ③**状況を把握**
④**目標・対策について意思決定** ⑤**呼びかける** (室田2018)

- 1週目：「教員の不安を除く」
- 個別相談会とZoomセミナー（録画配信）：教員3名，職員2名体制
 - 「オンライン授業設計の基礎」
 - 「関大のシステムを使ったオンライン授業の設計」
 - 「関大のシステムの操作方法」 各日30名程度の参加
- 必要性が高いものは事務と教員で資料作成，WEBで公開
- English available：教育推進部山本敏幸先生・商学部・国際部教員の協力

教員から寄せられた質問 FD相談実施当初に多かった質問

- 著作権
 - 新聞記事や書籍のコピーをLMS上においてもよいですか？
- データの容量、システム
 - 集中アクセスでのサーバダウン、ダウンロードの速度
- 学生への配慮
 - スマホで受講する学生への配慮はどうしたらよいか？ ネット環境が悪い学生への配慮はどうすべきか？
- 操作の前段階
 - メールアドレス・アクセス方法がわからない
 - 私のPCにZoomをインストールしてほしい
 - わからないことだらけで書けない
- 基本的な操作方法
 - マニュアルは手元にありますが基本から説明をお願いします
- 教育方法を実践するための操作確認
 - 外国語の授業（プレゼン・スピーチ）で、画像や音声ファイルを提出させたい。その際の支援手順を教えてください
 - ビアレビュー、出席（遅刻）確認、採点の仕方
- テスト環境を用意してほしい
 - 実際にブレイクアウトルームを試してみたい

- ③春学期はオンライン授業の実施決定（4/30）
- ④定期試験を行わず、平常試験で総合評価する。(5/15)

- レベル別FD相談会（初心・初級／中級）
 - 週4回実施，各回約30～70名の参加
 - 専任教員の参加が落ち着き，非常勤講師が中心に
- 個別相談から…現在は事例共有，上級対応へ
 - 「この方法でよいか，さらに良い方法があるか」という確認
 - OneDriveにファイルを提供して，個人伝言でURLを教えるとよいでしょうか？，さらに良い方法はあるか？
 - 効果的なオンライン授業の方法
 - 効果的な授業設計，学生同士の意見交換のポイントが知りたい
- テストができないため，評価に関するFDセミナー
 - 「遠隔授業の学習評価」（講師：多田泰紘）
 - 「パフォーマンス課題の評価とフィードバック」
- 関大の教員による事例紹介FDセミナー

教員に向けての対応

- 裁量的判断の幅と資源制約下でのジレンマを感じつつ，業務を選んで対応一ふるいわけ（Screening）（リブスキー1986，松井2018）
- FD講師は複数でカバーする体制（教員2名，IT・授業支援事務）
- 教員の力量に合わせた支援
 - 資料で対応できる教員
 - FD相談会やセミナーで対応できる教員
 - 個別対応が必要な教員
- 戸惑いに寄り添う・共感を大切に支援

M.リブスキー（田尾雅夫・北大路信彌訳）（1986）行政サービスのディレンマ：ストリート・レベルの官僚制，木鐸社
松井望（2018）復興過程のなかでの住民意識と行政対応，福地裕昭編著『東日本大震災大規模調査から読み解く災害対応：自治体の体制・職員の実態』第一法規

学習支援

時期とニーズに応じた
即時・柔軟な学習支援

各組織が学生ファーストでできる
ことを模索・実施

学生に向けた学習支援

A) アカデミックスキルに関する支援

B) 配慮が必要な学生に関する支援

C) 学生生活全般に関する支援



① 2020年4月1週目, 2週目は完全休講 「学びをとめない」

- ライティングセンター
- アカデミックスキルのワンポイント講座
 - 毎日30分全23回のライティングラボによる「Zoomで学ぶワンポイント講座（講師：多田泰紘, 藤田里美, 岩崎千晶）」
 - <http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/labo/onepoint-advice/index.html>
- 自学自習教材の提供
 - アカデミックライティングのeラーニング教材
 - レポートの書き方ガイド
- 学生や教員にとってZoom練習を兼ねて



©Chiaki Iwasaki, Yasuhiro Tada 2021

②4月3週目よりオンライン授業の開始 「ニーズに応じた即時の対応」

- 「学生が円滑に関大LMS・Zoomが操作できれば！」
 - Zoom, 関大LMSの活用講座
(講師：三浦真琴, 藤田里美)
- 「ワンポイント講座の映像をアクセスしやすくして！」
 - ワンポイント講座のYoutube公開
- 「図書館に行けない状況で、情報検索をするにはどうしたらよいのか？」
 - 学外からの図書館サービスに関するワンポイント講座



©Chiaki Iwasaki, Yasuhiro Tada 2021

③春学期はオンライン授業の実施決定 「ニーズに応じた柔軟な対応」

- オンライン出張講義
 - 春学期は初年次教育における授業連携が多い
 - Zoomを活用したオンライン出張講義
 - B学部1年生、8クラス約200名
(4クラスずつ2限に分けて実施)
- オンラインチュータリング
 - 初年次教育における授業連携が多い
 - チューターは研修を受け自宅勤務
 - 相談数：春は激減、秋は増加↑



©Chiaki Iwasaki, Yasuhiro Tada 2021

B) 配慮が必要な学生に関する支援：聴覚障害を持つ学生 (関西大学学生相談支援センター)

- リアルタイムのオンライン授業
- T-TAC CAPTION 筑波技術大学

日本聴覚障害者学生高等教育支援ネットワーク 遠隔情報保障システム T-TAC Caption (ディータック キャプション)
<http://www.pepnet-j.org/web/file/enkaku/tech-manual-ttaccaption.pdf> (Accessed 2020.06.15)

聴覚・視覚障害を持つ学生向けの支援

- オンデマンド配信の授業：資料を書き起こしてPDFファイルを提供
- YouTubeで授業配信：編集権限で、自動字幕を読みやすいように修正して提供
- 視覚障害を持つ学生：手元で拡大して活用

C) 学生生活全般に関する支援（教育支援室事務担当）

SAによるオンライン相談（1日20件程度）

- システム
 - Zoomではない授業，そのシステムの使い方，遅刻してZoomに入れなかった
- 授業
 - レポートが多い，授業に関する疑問，履修辞退
- 学生活動
 - 教科書販売，奨学金関係
- 先輩学生への質問
 - おすすめの授業，みんなと仲良くなれるサークル，勉強方法



本日の流れ

1. 大学のコロナ対応方針
2. 2020年中のセンターやタスクフォースの実際の活動推移（教職員や学生がどのような問題を抱え、それにどのように対処していったかなど）
3. 活動の成果（授業アンケートの結果や、学生の声、など）
4. 2021年度以降のセンターやタスクフォースの在り方やビジョン

2020年春学期オンライン授業のよかった点

遠隔授業に関するアンケート有効回答件数12655(44.6%)

1. 移動しなくてよい (10,698/84.9%)
2. 自分のペースで学習できる (8,310/66.0%)
3. 倍速で講義映像を見ることができる (4,496/35.7%)
4. 復習が何度もできる (4,273/33.9%)
5. コンピュータなどの知識やスキルが高まる (3,119/24.8%)
6. 予習・復習がしやすい (2,496/19.8%)

- オンデマンド型授業がおおむね好評
- 従来の授業を再構成→LMSで全教材の提示、予習・復習の充実

関西大学(2020)「遠隔授業に関するアンケート」の集計結果について
<https://www.kansai-u.ac.jp/ir/archives/2020/10/post-35.html> (閲覧日2021.1.7)

2020年春学期オンライン授業の課題

遠隔授業に関するアンケート 有効回答件数12655(44.6%)

1. 課題が多い (9,741/77.0%)
2. 先生の指示が分かりにくい (7,167/56.6%)
3. 集中力が続かない (6,321/49.9%)
4. 友達と一緒に学べず孤立感を感じる (6,057/47.9%)
5. 勉強のペースをつかみにくい (5,641/44.6%)
6. 先生に質問がしにくい (5,549/43.8%)



関西大学(2020)「遠隔授業に関するアンケート」の集計結果について
<https://www.kansai-u.ac.jp/ir/archives/2020/10/post-35.html> (閲覧日2021.1.7)

2020年春学期オンライン授業の課題

遠隔授業に関するアンケート 有効回答件数12655(44.6%)

1. 課題が多い (9,741/77.0%)
 - 授業外学習の時間を確保ができた
 - 推薦母体、コーディネーターの間での調整が必要
2. 先生の指示が分かりにくい (7,167/56.6%)
 - 教員によって利用するシステムが異なる
 - 教材以外：どういう手順で実施するのかを提示する学習ガイド
6. 先生に質問がしにくい (5,549/43.8%)
 - 課題のやり方に関するちょっとした質問？
 - 授業内容に関する深い質問？

関西大学(2020)「遠隔授業に関するアンケート」の集計結果について
<https://www.kansai-u.ac.jp/ir/archives/2020/10/post-35.html> (閲覧日2021.1.7)

2020年春学期オンライン授業の課題

遠隔授業に関するアンケート 有効回答件数12655(44.6%)

3. 集中力が続かない (6,321/49.9%)
 - 映像を短く(20分程度)、映像を途中で停めて学習活動
 - 映像視聴の意義を伝える、映像の理解を確認できる機会
4. 友達と一緒に学べず孤立感を感じる (6,057/47.9%)
 - 対面授業でカバー？ 触れずにフレンズ
 - 外国語の授業、演習等の比較的受講生が少ない授業
5. 勉強のペースをつかみにくい (5,641/44.6%)
 - 授業の中でペースをつくる…には限界がある
 - 対面授業でカバー、自律的に学ぶ力の育成が必要

関西大学(2020)「遠隔授業に関するアンケート」の集計結果について
<https://www.kansai-u.ac.jp/ir/archives/2020/10/post-35.html> (閲覧日2021.1.7)

学生へのケアに配慮

- 学生の躰きを把握する必要性（石井2020）
 - やり方：課題はでたけど、何するの？
 - 内容：授業で扱っている内容がわからない
 - 学び方：課題は出たけどどうすれば？学び方がわからない
 - 意欲：課題は出たけど、やる気はない
- 学び方、内容、意欲は躰いていなかったのか？
- 躰きの把握、対応…教員による工夫
- TA/LA 安心して聞ける場づくり

石井英真（2020）「子どもたちの『学びを保障する』とはどういうことか」『教職研修』編集部（編集）、岩瀬直樹・西郷孝彦・石川晋・中原淳・藤原和博・秋田晋代美・赤沢早人・石井英真・森須正裕・田村学・渡上慎一・梶原忠・平井聡一郎・平川理恵・梶谷真司・新保元康・木村泰子・山本宏樹・住田昌治・妹尾昌俊・市川力・小高美恵子「ポスト・コロナの学校を描く（教職研修総合特集 701号）pp.62-70、教育開発研究所。

本日の流れ

1. 大学のコロナ対応方針
2. 2020年中のセンターやタスクフォースの実際の活動推移（教職員や学生がどのような問題を抱え、それにどのように対処していったかなど）
3. 活動の成果（授業アンケートの結果や、学生の声、教職員の声など）
4. 2021年度以降のセンターやタスクフォースの在り方やビジョン

今後の授業・カリキュラムデザイン

- 原則対面
- 授業・カリキュラムデザイン
 - 大学によってさまざまな対応？
 - 知識の習得→オンデマンド講義 思考・判断・表現→対面授業
 - 初年次教育ーレポートの書き方→オンデマンド型授業
レポートの推敲→対面授業ピアレビュー、フィードバック
- 自律的な学びの支援(授業設計の工夫・オンラインチュータリング・TA/LA)
- カリキュラム単位でリデザイン
- 大学に求める支援

大学情報センターとしての取組事例

2021年2月27日

徳島大学情報センター長
松浦 健二



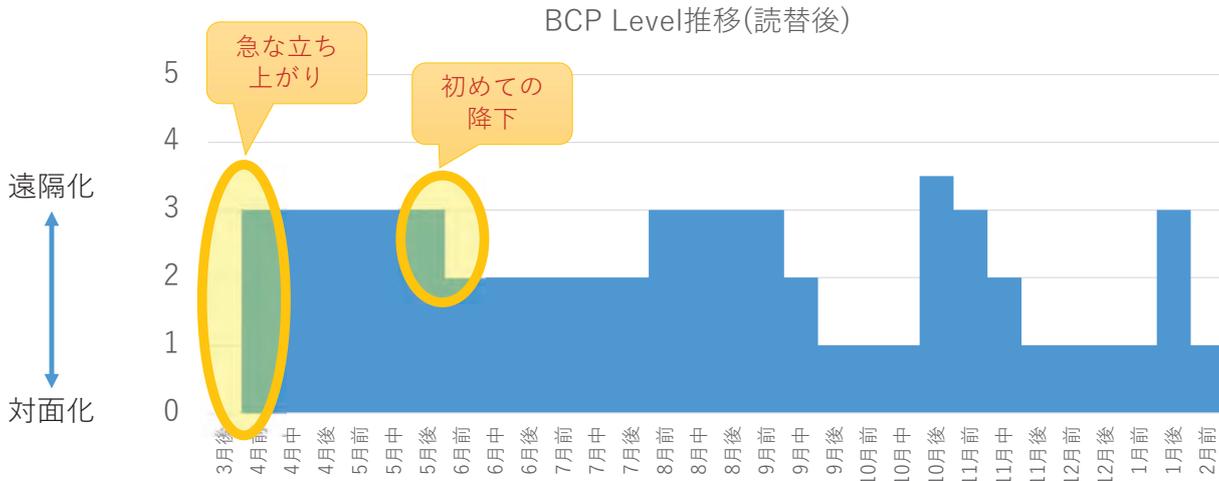
自己紹介

- 報告者：松浦健二
 - IPSJ, JSiSE, JSET, IEICE, JSAI等会員
 - Ref.) <https://researchmap.jp/ma2/>
- 所属機関：徳島大学
 - 6学部（総合科学部，医学部，歯学部，薬学部，理工学部，生物資源産業学部）+ 大学院
 - 構成員数約 1 万人*（学部生5902人，大学院生1488人，教職員2344名）
 - 生命科学系，理工系に強味
- 所属組織：情報センター
 - 3部門（情報統括部門，ICTサービス部門，事務室）
 - 教員4名，技術職員2名，事務系職員6名，補佐員，契約職員
 - DX推進，情報環境企画運用，情報セキュリティ(ISMS10年目)

*大学ウェブ掲載基礎情報(2020.5時点)より



徳島大学におけるBCPLレベル推移



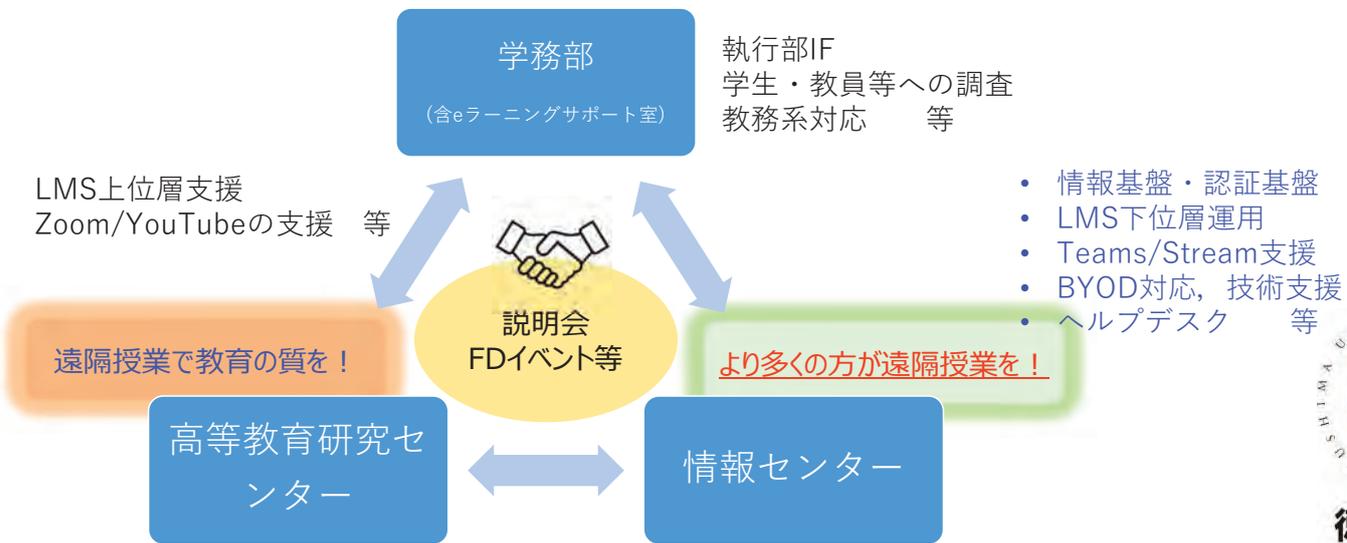
注意)

- ・6月には基準見直し, 8月以降はレベル自体の見直しあり
- ・最新のレベル定義では, 3は3Aと3Bに細分化
(以上を踏まえ, 7月以前は現基準に基づく読替想定(厳密な置き換えではない))



教育支援系組織と情報系組織の連携

「急な立ち上がり」対応時の方針(回顧)



情報センターで起きてたこと

- 2020年4月
 - センター長交代で指揮系統の変更
 - ソフトウェアライセンスの契約変更対応
 - PC必携2年目への対応
 - ICT化4施策の2年目対応 etc.

→例年4月は大変，例年以上に大変

確かに毎日大変でした
「医療崩壊」という当時聞き慣れない言葉が広まる時期に，一部には「IT崩壊」との危惧さえ．．．

実は，技術面での判断は早く，組織内部での混乱を避けることができていた．その要因は以下2点．

- (1) TV会議システムを全学提供する準備が整っていた
- (2) LMS等はクラウド(SaaS)で運用してた



技術面でのポイント

(1) Teams: 改めての選択検討せず（全学の機関統合識別子（徳大ID）で機能する道具立てとして準備済みだった）

- 2019.11時点で，それまで提供してたSkype for Businessから，Teamsへの移行を決めて検証・手順化等準備を進めてた
- 情報センターは，毎朝TV会議を実施してきたが，2020.1時点でTeamsに切り替えて4月に全学提供のための準備を開始してた
- センタースタッフ全員が，その利用に慣れてた

(2) LMS: クラウドサービスにお任せ状態

- ネットワークはもつのか，サーバはもつのか等の懸念の意見多数
- 利用過多によるサービス停止は一度も発生していない



授業用途で全学的(*)に用意されているツール，システム等

- 教務事務システム
 - (1) 履修登録，シラバス，成績確認，学習管理
- 学習管理システム
 - (2) 資料配布，小テスト，アンケート，レポート授受，掲示板
- e-ポートフォリオシステム
 - (3) 資料整理，資料共有
- 遠隔授業実施システム
 - (4) TV会議，チャット，ファイル共有，録画/再生(連携)
- コンテンツ保管・共有・配信システム
 - (5) 動画配信・蓄積
 - (6) ファイル共有，ファイル閲覧
- その他
 - (7) アンケート・クイズ

※本学統合認証・包括ライセンス関係に限る
部局単位のシステムは除く
下線部分は今年度利用増加が顕著なシステム



機能要件と実システム対応

0. 授業前の要件

- (01) 予習用等，**事前準備資料配布**および**連絡**
- (02) 事前学習課題提出

1. 授業中の要件

- (11) 出席確認
- (12) 教員によるライブレクチャ・指示
- (14) レポート課題提示
- (15) 設問回答(教員Q→学生AxN)
- (16) 質疑応答(学生Q→教員A)
- (17) 学生の意見の交換の機会(学生同士)

2. 授業後の要件

- (21) レポート課題提示・受領・評価および**連絡**等
- (22) **事後質疑応答**
- (23) 事後議論
- (24) **要補講学生用蓄積コンテンツ配信**

(前提) 本学授業支援用の主なシステム

- A. 基盤機能(メール，教務システム)
- B. 非同期機能(LMS)
- C. 同期機能(TV会議/動画配信等)
- D. 補間機能(Webフォーム/ストレージ等)

(前提) 報告者個人のツール利用状況

- LMS
- メール・教務システム
- 遠隔会議システム
- 動画ストリーミングサービス
- Webフォーム
- クラウドストレージ

赤字部分は従来の対面に比して高負荷

対面緩和期に向けては



対面緩和期に向けては



支援活動の一例

- マニュアル化
 - 一般的留意事項（学生用，教職員用）
 - 出席確認から登録への手順
 - チーム登録手順
 - コンテンツ作成（音声付スライド作成，手書きコンテンツ，ストレージ利用等）
 - ちょっとしたテクニックは，Web広報でも特集
- ログ分析
 - 統合認証での異常有無
 - LMS利用状況
 - TV会議システム利用状況 など
- 基盤サービス対応
 - パスワード変更等学内限定への対応検討
 - VPNライセンス増強



地道な活動は継続しつつ．．．高度化・高品質化へ

【大量データへの注視】

- 一次データは大量に蓄積されていく
- 分析のための前処理も知見が揃いつつある
- ログは証跡を辿るのがメイン．．．だったが
- ログから個人毎のダッシュボード化ができるように
- ログから個人毎の未来予測でお節介へ

【コモディティ化 + α 】

- 安定の機能，運用，セキュリティ維持
- おっ！と思ってもらえる少し賢く見える機能提供
- 提供機能に対する効果測定



中規模私立大学における 教育開発支援の取り組み

—コロナ禍中の対応と展望—

大学コンソーシアム京都主催
「FDフォーラム2020」第6分科会

2021年2月27日14時～17時

京都橘大学 教育開発支援センター

西野 毅朗

nishino-ta@tachibana-u.ac.jp

(ご質問やご相談等がございましたら、上記アドレスまでお気軽にご連絡ください)

報告者のプロフィール

- 西野 毅朗 (にしの たけろう)
- 京都橘大学 現代ビジネス学部 経営学科
同 教育開発支援センター 専任講師
(2016年より現職)
- 同志社大学大学院社会学研究科教育文化学専攻
博士後期課程修了、博士 (教育文化学)
- 主な共著書
中井俊樹編著 (2015) 『アクティブラーニング』 玉川大学出版部
佐藤浩章他編著 (2016) 『大学のFD Q&A』 玉川大学出版部
小林忠他編著 (2018) 『アクティブラーニングの活用』 医学書院
近田政博編著 (2018) 『研究指導』 玉川大学出版部
前原澄子監修 (2018) 『看護学生のためのよくわかる大学での学び方』 金芳堂

京都橘大学の概要

※（2020年5月時点）

- 所在地；京都府京都市山科区
- 学部学科数：6学部13学科（人文・社会・医療）
- 学生数：4788名
- 教職員数：185名（専任教員） 110名（専任職員）

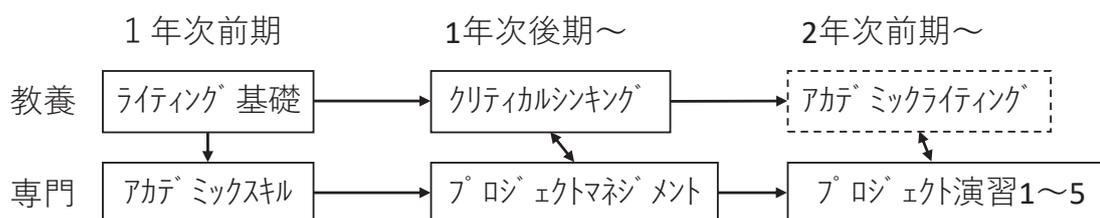
※2021度より、現代ビジネス学部を改組し、経済学部、経営学部、工学部を新設（8学部15学科へ）。

※新棟を建設し、ラーニングコモンズや学習支援を強化
⇒これらの具体的な設計に関して教育開発支援センターも関与（コロナ対応と同時並行）

3

新学部(経済・経営・工)のカリキュラム構想

1. 教養教育課程と専門教育課程の改革・連携



2. 専門教育課程間の連携

⇒学部を超えたクロスオーバー型の科目履修やプロジェクト

3. キャリア教育の改革

⇒キャリア科目の体系化／インターンシップの必修化

4. IT/AIリテラシーの強化

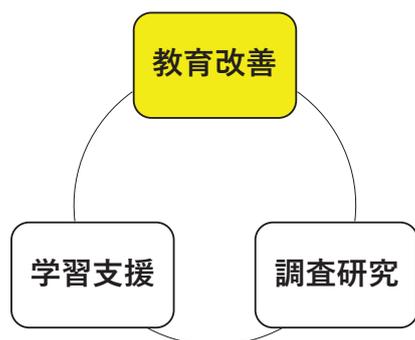
⇒科目配置と必修化等

4

教育開発支援センターの概要

※（2020年5月時点）

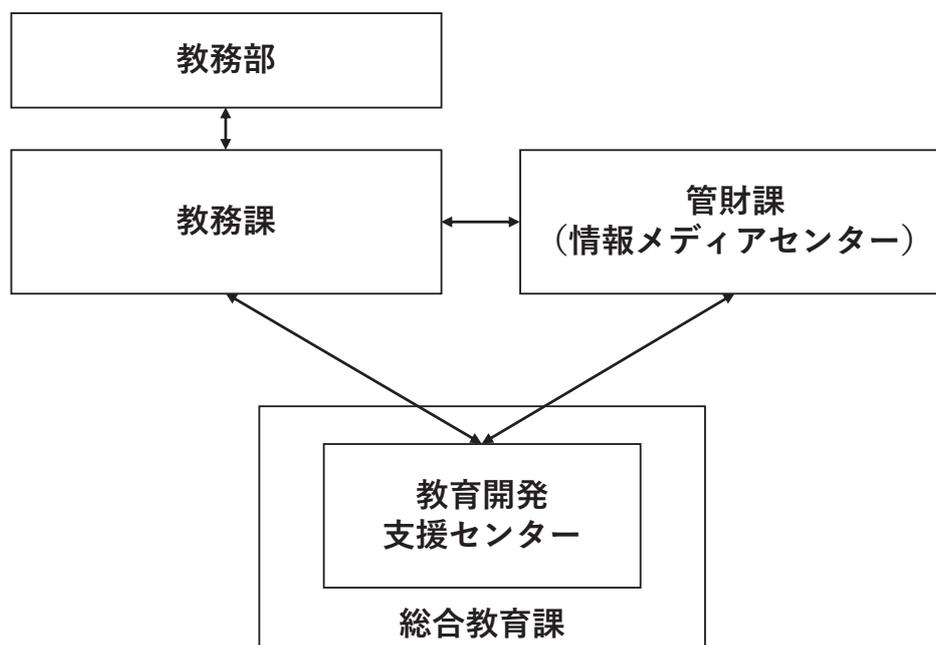
- 2016年に設置
- 専門教員1名配置
（責任コマ数1/2）
- 全学組織、学部・学科、教員個人、の三層に対して教育上の問題解決を支援



全学 組織 マカ	<ul style="list-style-type: none"> ・全学F D企画実行支援 ・新任教員ガイダンス支援 ・教養教育課程の開発支援
学部 学科 ミドル	<ul style="list-style-type: none"> ・学部／学科F D企画実行支援 ・カリキュラム（プログラム）マネジメントデザイン支援
教員 個人 ミカ	<ul style="list-style-type: none"> ・授業づくり支援（授業コンサルティング） ・教材開発支援

5

コロナ禍への対応（組織的な構造）



6

コロナ禍への対応（プロセス）

- ①1stステージ（緊急対応）：3月下旬～4月中旬
- ②2ndステージ（全面对応）：4月中旬～5月中旬
- ③3rdステージ（改善対応）：5月中旬～6月中旬
- ④4thステージ（後期対応）：7月上旬～

7

①1stステージ:緊急対応

	全学的な意思決定・通達	教育開発支援センターの動き
3月25日		(YouTubeやPPTスライド動画作成法などの研究)
3月27日	「2020年度 前期の授業形態の見直しについて（お願い）」 ・4月20日まで遠隔授業化	・センター⇄教務課で対応検討 LMS使用法動画を制作（全6本）
4月2日		(Zoomの使用法研究／ガイドブック1開発)
		・ガイドブック1「2020年度前期第1・2講の授業づくりについてver.1」配信（動画全11本付）
4月10日	「2020年度 前期の対面授業開始日の変更について」 ・5月12日まで遠隔授業化	(Teamsの使用法研究／ガイドブック2開発／個別教員対応)
		・ガイドブック2「2020年度前期オンライン授業づくりについて」配信（動画全16本付）

8

②2ndステージ：全面对応

	全学的な意思決定・通達	教育開発支援センターの動き
4月17日		教務課⇒センターへ 遠隔授業類型化 の依頼、 シラバス改訂法 、 使用ツール の検討（副学長、教務部長、教務課長、センターで協働）
4月30日	「2020年度前期すべての授業の遠隔授業化に向けて」 ・ 前期全て遠隔授業化	ガイドブック3 「2020年度前期オンライン（遠隔）授業づくりについて ver.2」（ 動画全33本付 ） 第1回オンラインFD学習会 「オンライン（遠隔）授業をどのように進めていけばよいか」 （個別対応）
5月7日		
5月9日		

9

京都橘大学における遠隔授業類型と各型の特徴

	類型No.	類型名	主な教材	教材作成にかかる時間	授業作成・実施のしやすさ	学生の通信負担の少なさ	クラスサイズとの相性		
							小	中	大
オンデマンド型 非同期	1	資料提示・課題型	テキスト教材	△	◎	◎	◎	×	×
	2	講義音声配信型	テキスト教材+聴覚教材	○	○	◎	○	○	○
	3	講義撮影動画配信型	視聴覚教材	△	◎	△	○	○	◎
	4	スライド動画配信型	視聴覚教材	△	○	△	○	○	◎
ライブ中継型 同期	5	講義ライブ配信型	—	◎	×	×	◎	○	×
	6	同時双方向型	—	◎	△	×	◎	△	×

※教員は6類型から選択し、シラバスに記載

10

③3rdステージ：改善対応

	全学的な意思決定・通達	教育開発支援センターの動き
5月27日		※中間授業アンケートを企画・提案 第2回オンラインFD学習会 「同時双方向型の授業をどのように進めていけばよいか」 ※ZoomとTeamsの事例報告を教員1名ずつ提供
6月13日		※「 遠隔授業に関するアンケート 」 (5月26日～6月1日) ⇒中間授業アンケートの特別実施⇒結果は科目別に全教員に郵送(6月5日) 第3回オンラインFD学習会 「遠隔授業に対する学生(前期中間)アンケート結果から考えるオンライン授業改善」

11

中間授業アンケート自由記述分析結果と考察

スタイル	<ul style="list-style-type: none"> 資料提示<聴覚教材配信<視聴覚教材配信or同時双方向 ICT上のトラブル、受講ストレス
設計	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔特有の問題は少ない 講義と課題をいかに結び付けるかが重要
教材	<ul style="list-style-type: none"> 多様な教材の併用(テキスト、画像、動画) 分量には注意(大量印刷できない、動画長時間見れない)
方法	<ul style="list-style-type: none"> グループワークの有難さと困難さ 実習実技(体験型の学習)ができないことは不安
課題	<ul style="list-style-type: none"> 課題が多いことよりも、課題が適切かどうかの問題 フィードバックの有無も重要
評価	<ul style="list-style-type: none"> カンニングができるテストへの不公平感 レポート課題の提示タイミング(期限長めに)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 学生と教員の双方向性の担保(質問どうすれば?) 学生の家庭(学習)環境への配慮必要性

※あくまでの学生の主観であり、学習成果に基づいたものではない。

④4thステージ：後期対応

	全学的な意思決定・通達	教育開発支援センターの動き
7月1日	「2020年度後期授業の開講について」 ※受講生数80名未満の場合は対面実施	第4回オンラインFD学習会 「はじめてのオンデマンド授業」 ※スライドは全教員に配信 ガイドブック4 「対面授業をライブ配信する方法について」管財課職員が主開発（センターは開発支援） 第5回オンラインFD学習会 「対面授業への出席が困難な学生への具体的な対応方法-対面授業をいかに配信するか-」※オンデマンド配信
9月3日		
9月16日		

13

2019年度前期授業アンケート結果と 2020年度前期授業アンケート結果の比較

授業アンケート項目	2019年前期		2020年前期		2020-2019年の比較	
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点差	有意差
私は、この授業の内容をよく理解できた。	4.17	0.40	4.18	0.37	0.01	
私は、この授業の内容に興味・関心が持てた。	4.20	0.42	4.25	0.36	0.05	
私は、この授業をまじめに、意欲を持って受講した。	4.30	0.32	4.39	0.31	0.09	***
教員は、シラバスに沿って計画どおり授業を行った。	4.34	0.33	4.35	0.32	0.01	*
教員は、十分な準備を行い授業を進めた。	4.35	0.34	4.41	0.36	0.06	
教員は、理解を促したり考えさせたりするための工夫を行った。	4.32	0.37	4.33	0.40	0.01	
教員は、授業外での学修方法(資料・課題など)を明確に示した。	4.20	0.39	4.30	0.37	0.10	***
総合的に見て、この授業を受講してよかった。	4.26	0.40	4.32	0.39	0.06	

※回収率は2019年で59.4%、2020年は45.3%と低下

- 対面と遠隔で大差なし⇒前期から良い授業を実現
- 有意差が認められた項目
 - 「まじめな受講」⇒回収率の低下 & 課題提出が要因か
 - 「授業外の課題明示」⇒全面遠隔化が要因か
 - 「シラバス通り」⇒5月のシラバス訂正が要因か

14

今後の展望

- 2021年度も80名以上の授業は原則オンデマンド
※科目特性に応じて対面も可能

マクロ (制度・組織)	ミドル (カリキュラム・プログラム等)	ミクロ (個別授業)
<ul style="list-style-type: none"> ● BYODの推進 (新1年生からノートPC必修化) ⇒メディアセンターと協力した学習支援の強化が必要か ● 学習力強化のための学習支援の強化 ⇒オンライン教育では学習力の格差がより顕著に出る可能性があるため 	<ul style="list-style-type: none"> ● 80名未満のクラスでも、ハイブリッド化を模索 (同一科目複数クラスを中心に) 	<ul style="list-style-type: none"> ● オンラインツールの利用促進も意識した授業づくり支援 ● ハイブリッド型の授業を公開もしくは事例共有していく

- 学習成果の観点からの授業改善の推進



教育支援の教員組織を 持たない大学の試み

京都外国語大学

外国語学部 石川保茂
法人部施設管財課 中原 学

2021/2/27

第26回FDフォーラム第6分科会

1



自己紹介

石川 保茂 (いしかわ やすしげ)

京都大学大学院人間・環境学研究科修了

博士 (人間・環境学)

所属：外国語学部英米語学科

外国語自律学習支援室NINJA 室長

専門分野

- 外国語教育学
 - Computer Assisted Language Learning (CALL)
 - Mobile Assisted Language Learning (MALL)
- コーパス言語学

2021/2/27

第26回FDフォーラム第6分科会

2



自己紹介

中原 学（なかはら まなぶ）

インフラ系ITエンジニアとして構築プロジェクトに参加

- 携帯電話メッセージサービス
- 交通系ICカード化プロジェクト など

2004年 京都外国語大学SE

2015年 財務部 情報システム推進担当

2016年 法人部 施設管財課 同担当

業務委託SE 3名

“ITチーム”
学园内全てのITを管理・運用



本日の流れ

- 大学の規模
- 大学のコロナ対応方針
- タスクフォース・教務委員会ワーキンググループ
- 取組の概要
- 取組の検証
 - アンケート結果
- 2021年度のビジョン



大学の規模

学生数（12/24/2020時点）

- 大学 4434名
- 短大 297名
- 大学院 91名
- 留学生別科 51名

授業コマ数（集中講義含む）

- 春学期 2187
- 秋学期 2066

専任教員数：126名

非常勤講師数：418名



大学の規模

2020年度受講者数

学期	人数	科目数
春学期	1-100名	1652
	101-200名	45
	201-300名	14
	301-400名	2
	401名以上	4
	計	1717
秋学期	1-100名	1588
	101-200名	46
	201-300名	11
	301-400名	6
	401名以上	0
	計	1651



大学のコロナ対応方針

春学期：遠隔授業

秋学期：一部対面授業 ⇒ 遠隔授業

緊急事態宣言



タスクフォース、 教務委員会ワーキンググループ

春学期：タスクフォース

12名：学長、副学長(2)、教務部長、学科長(2)、教員(4)、職員(3)

秋学期：教務委員会ワーキンググループ

20名+α：教務委員長、短大教学委員長、副学長(1)、教務部長、学科長(4)、
副学科長(1)、教員(6)、職員(5)



取組の概要：春学期

- タスクフォース発足（4/3）
- 通信環境に関する学生向けアンケート調査（4/7～4/10）
- 学生向け及び教員向け遠隔授業準備サイトの整備（4月～）
- MS Teamsについて4回の全体事前研修を実施（4/20、4/24、4/27、5/5）
- MS Teamsの「Ongoing Discussion」内での質問対応（5月～）
- FD・オンライン分科会の実施（5/30）
- 緊急遠隔授業に関する学生向けアンケート調査（6月）
- 教務委員会ワーキンググループ会議発足（7/22）
- 教員向けアンケート調査（9月）



取組の概要：秋学期

- 秋学期遠隔授業担当者向けMS Teamsワークショップ（9/15）
- 教室設備および対面授業の実施方法等に関する講習会（9/16）
- 教員向けアンケート調査（1月）
- FD・オンライン分科会の実施（1/28）



取組の検証：アンケート調査

春学期

- FD分科会報告（5月）
- 緊急遠隔授業に関する学生向けアンケート調査（6月）
- 教員向けアンケート調査（9月）

秋学期

- 教員向けアンケート調査（1月）
- 冬季FD分科会報告（1月）



2021年度のビジョン

感染拡大防止対策を講じたうえで、原則として「対面授業」とする

受講者数が多い授業科目および、オンラインによる実施の方がより教育効果があると本学が認めた一部の授業科目については、「遠隔授業」とする

原則として「対面授業」

- 配慮が必要な学生への対応 ➡ 対面＋遠隔「ハイブリッド型」授業

「遠隔授業」

- オンデマンド授業の選定 ➡ ビデオ・オン・デマンド配信授業



ご清聴ありがとうございました

京都外国語大学・京都外国語短期大学 緊急遠隔授業対応年表

1月15日

国内で初の新型コロナウイルス感染者が確認される。

3月

- ・4月からの授業を、オンラインで行うと発表する大学が現れはじめる。
- ・卒業式・入学式の中止を決定。
- ・授業開始の延期を検討。
 - ・開始までの期間は、オンライン授業が行われる事を視野に入れ、学修の準備を行う。
 - ・Googleサイトで授業準備サイトを構築。
 - ・学生に、Zoomなど使用する可能性のあるアプリをインストールするよう促す。
 - ・先生方にはとりあえず、manabaに加え、Google Classroom と Meet を提供して準備してもらう。
 - ・ひたすら情報収集。



4月3日

- ・少人数の関係者によって構成された「**オンライン授業準備に係るタスクフォース**」が学長の呼びかけにより結成される。

第1回 タスクフォースミーティング

- ・学生のインフラの確認（新生生のPC所有率66%、スマホはほぼ100%）
- ・100分間の授業に必要なデータ通信量の見積りを開始。
- ・授業プラットフォームは manaba、Google Classroom (Meet)、Zoom、Microsoft Teams を検討。
 - ・学生の負担を考え、どれかに統一する事に。
- ・その他課題噴出（研修どうする？オンライン授業の形式は？期間は？コストは？ etc..）

4月5日

- ・【**朗報**】全教職員・学生にMicrosoft Teamsのライセンス割当て完了。
 - ・4月1日の予定がコロナで出荷が遅れていた。
- ・授業テストチームを作成して動作テスト開始。
- ・Teams上に「**オンライン授業検討プロジェクト**」チームを作成。以後、タスクフォースの議論の場となる。

4月6日

- ・文部科学省より「**大学等における遠隔授業の実施に当たっての学生の通信環境への配慮等について**」の通知。
 - ・通信量を抑える工夫が必要になる。
- ・他大学のオンライン授業初日に**manabaでトラブル発生。衝撃が走る。**

1. 学生の通信環境への配慮等について
 (1) 遠隔授業の実施に当たっては、必要に応じて事前のアンケート調査により学生の情報通信機器の保有状況等を把握し、適切な遠隔授業の実施方法を検討するなど、学生の通信環境に十分配慮することが重要である。その上で、テレビ会議システム等を利用した同時双方向型の遠隔授業や、オンライン教材等を用いたオンデマンド型の遠隔授業等の実施方法が考えられるところ、授業の実施形態により必要な通信量は多様であることから、学生の通信環境や学内・地域通信量等を踏まえて、これらの授業方法の組合せ又は接続授業上の組合せや、画面調整等によるオンライン教材の低容量化、教材のダウンロードを回避の比較的早い時期前に留意する等、各大学等の状況に応じた取組の工夫をお願いします。
 なお、同時双方向型の遠隔授業を実施する場合、当該授業の会時間について同時双方向の状態を確保ことは法令上求められていないことから、例えば、90分授業の最初と最後においてテレビ会議システム等を通じた講義を実施し、その途中においては、電子メールや掲示板等による質疑応答等を行うつつ、スライド資料等の教材を用いて、授業中に購読する学修を各自行わせるといった方法も考えられます。

4月7日

政府より緊急事態宣言の発出。

第2回 タスクフォースミーティング

- ・学生の環境調査アンケートを実施（Google フォーム）
- ・授業のプラットフォームは manaba と Teams に内定。
 - ・Zoomはセキュリティに難あり、GoogleはGFWのため中国では使えない。

4月8日

- ・**授業開始は5/7に決定**、学内は入構禁止へ。
- ・manabaをオンライン授業のポータルにするのはNGとメーカーから連絡あり。アップロードできるファイル容量にも制限がかかる。
- ・NTT西日本よりTeamsを使った授業オンライン配信の提案。
 - ・**Teamsをメインのプラットフォームにする事が決定。**
 - ・manabaは課題配布や小テストなどの使用に留める（授業中の一斉利用を禁止）。
 - ・Zoom他は学生の負担を考え非推奨とする。

4月10日

第3回 タスクフォースミーティング

- ・教員、学生への通知内容と方法の検討。
- ・授業形式の検討（ライブ、ビデオオンデマンド方式、資料配布のみ etc...）
- ・サポート体制の検討（教員向け準備サイトを作る、コールセンターの開設など）
- ・学生の環境調査アンケート結果（PC所有率は80%、未所有の過半数が購入予定なし）
 - ・**学生がスマホで授業に参加してくるつもりで準備する。**
 - ・WiFi環境が無い場合は**通信費が問題に**（携帯キャリアのU25向け支援措置にも限界がある）

4月15日

第4回 タスクフォースミーティング

- ・必要コストがまとまる（Teams上に授業チームを作成し学生を登録する作業費、**学生・教員への通信費等の補助**、コールセンター費用 etc..）
- ・授業運営について詳細な検討（録画は？、出席は？）
- ・**データ通信量は1授業あたり300MB（動画なら約30分）までと決める。**
- ・**ワークショップ開催の決定。**

4月20日

第1回 Teamsオンラインワークショップ（Teams会議で実施）

- ・ Teams上にワークショップ用のチームを作成し全教職員を追加。
- ・ Teamsでできる事を実演しながら説明。
- ・ 皆初めてのTeams、参加者がそれぞれ会議を立ち上げてしまい大混乱に！

4月21日

第5回 タスクフォースミーティング

- ・ 前日のワークショップの反省会。
- ・ もっと初歩的な内容のワークショップが必要。
- ・ **オンラインだけでは伝わらない（対面も実施すべき）。**

4月24日

Teamsオンラインワークショップ「入門編」（Teams会議で実施）

- ・ Teamsアプリをダウンロードし、インストールして起動するまで。

4月27日

Teams オンラインワークショップ「応用編」（対面とオンライン同時開催）

- ・ 授業シミュレーションを通じた具体的な操作説明。
- ・ 以後、ワークショップ用チームは「**遠隔授業 Ongoing Discussion**」と名を変えて、遠隔授業に関する意見交換の場として活用する事に。
- ・ 過去のワークショップは資料と共に動画で共有。

4月28日

・ 自宅で遠隔授業を行う先生方へ機材（PC、カメラ、ヘッドセット）の貸出しを開始。

第6回 タスクフォースミーティング

- ・ 授業開始までのサポート体制の確認（連休中の問い合わせは、フォームがTeamsへ投稿してもらい、ITメンバーが出勤して対応。）

5月5日

始業直前特別編 オンラインワークショップ

- ・ 春学期最後のワークショップ。

5月7日

春学期授業開始！

- ・ 予想外の順調な滑り出し。
- ・ 一時間問い合わせが増えるが、3週目が終わった頃には落ち着く。
- ・ **質問と回答は遠隔授業 Ongoing Discussion 上で共有。**
- ・ 話題別にチャンネルを分けて対応。

6月4日

第7回 タスクフォースミーティング（最終回）

- ・ 遠隔授業開始から1ヶ月が経過したので、小括。
- ・ タスクフォースは役割を終え、「**教務委員会ワーキンググループ**」にボタンタッチして解散。

7月22日

第1回 秋学期授業ワーキンググループミーティング

- ・ **秋学期は対面授業と遠隔授業の併用の方針。**
- ・ 事前に集めた意見をベースに議論開始
- ・ 対面授業数が多い順にプランA～Dの4案を作成。
- ・ **プランC「学科指定科目のみ対面」に決定。**

7月27日

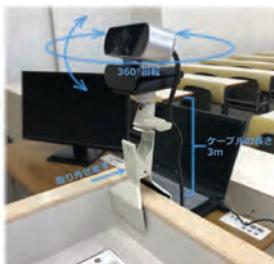
第2回 秋学期授業ワーキンググループミーティング

- ・ プランCの概要説明。対面授業指定の条件、授業シミュレーションを公開。

8月27日

第3回 秋学期授業ワーキンググループミーティング

- ・ 授業パターンの例示、ネットプリントサービスの利用を決定、カメラでの顔出しポリシー（リモハラ対策）
- ・ **対面授業用教室のプロトタイプを公開。**



- ・ PCの画面と追加モニターは、デスクトップ上でつながっており、マウス操作でウィンドウを自由に移動させる事ができます。
- ・ 追加モニターは、Teams上で「画面2」として認識されています。
- ・ Teamsで画面2を共有しておくことで、資料を堂々とした画面に共有しやすくなります。

9月3日

- ・ 教員を対象に「**遠隔授業に関するアンケート**」を実施。



第4回 秋学期授業ワーキンググループミーティング

- ・入構制限の方法（ICカードチェック）、検温方法、具体的な感染防止策の決定。

9月9日

第5回 秋学期授業ワーキンググループミーティング

- ・授業マニュアルの作成。
- ・**Zoomの利用を許可。**
- ・対面授業に遠隔で参加する場合のルール作り。
- ・成績評価の方法、出席を取る事の義務化 etc…

9月15日

秋学期 Teams オンラインワークショップ

9月16日

対面授業講習会

- ・実際の対面授業用教室を使い、カメラ等機材の使用方法を説明。

10月1日

秋学期授業開始！

10月16日

文部科学省「対面」3割以下の大学を再調査、校名公表と発表。

10月21日

第6回 秋学期授業ワーキンググループミーティング

- ・秋学期統一試験の方法を検討。
- ・**対面授業の追加を検討。**
- ・秋学期WG最終回。以後のミーティングは、2021年度 春学期授業の準備を対象とする。

11月23日

- ・**対面授業を追加**

12月23日

第7回 春学期授業ワーキンググループミーティング

1月13日

政府より2回目の緊急事態宣言の発出。

1月14日

- ・**対面授業を全て遠隔授業に切替え。**

第8回 春学期授業ワーキンググループミーティング

1月27日

第9回 春学期授業ワーキンググループミーティング

1月28日

- ・**冬季FDワークショップ開催**

2月2日

政府、緊急事態宣言を3月7日まで延長と発表。

2月10日

第10回 春学期授業ワーキンググループミーティング

・
・

4月19日 **春学期授業開始（予）**

調査対象者数	回答者数	回収率
4943人	2677人	54%

調査期間

2020年4月7日10時から4月10日10時まで

質問1 自分専用のパソコンを所有していますか？（1つ選択）

所属と学年	はい	いいえ	総計
外国語学部 英米語学科 全体	807	202	1009
1年次	181	87	268
2年次	206	38	244
3年次	229	48	277
4年次	189	29	218
不明	2	0	2
外国語学部 スペイン語学科 全体	88	38	126
1年次	21	18	39
2年次	30	8	38
3年次	19	8	27
4年次	18	4	22
外国語学部 フランス語学科 全体	99	27	126
1年次	24	11	35
2年次	25	6	31
3年次	24	4	28
4年次	26	6	32
外国語学部 ドイツ語学科 全体	100	34	134
1年次	30	11	41
2年次	24	10	34
3年次	20	8	28
4年次	26	5	31
外国語学部 ブラジルポルトガル語学科 全体	91	23	114
1年次	28	8	36
2年次	18	6	24
3年次	21	6	27
4年次	24	3	27
外国語学部 中国語学科 全体	138	47	185
1年次	40	18	58
2年次	31	9	40
3年次	37	10	47
4年次	30	10	40
外国語学部 日本語学科 全体	127	34	161
1年次	39	13	52
2年次	25	5	30
3年次	31	9	40
4年次	32	7	39

質問1 自分専用のパソコンを所有していますか？（1つ選択）

所属と学年	はい	いいえ	総計
外国語学部 イタリア語学科 全体	92	27	119
1年次	20	6	26
2年次	24	7	31
3年次	26	7	33
4年次	22	7	29
外国語学部 国際教養学科 全体	33	4	37
1年次	1	0	1
3年次	5	1	6
4年次	27	3	30
外国語学部 ロシア語学科 全体	11	5	16
1年次	11	5	16
国際貢献学部 グローバルスタディーズ学科 全体	167	24	191
1年次	64	17	81
2年次	52	6	58
3年次	51	1	52
国際貢献学部 グローバル観光学科 全体	248	37	285
1年次	77	18	95
2年次	78	11	89
3年次	93	8	101
留学生別科 全体	5	3	8
1年次	0	1	1
2年次	3	2	5
4年次	1	0	1
不明	1	0	1
短期大学 全体	87	40	127
1年次	48	27	75
2年次	39	13	52
大学院 全体	39	0	39
1年次	21	0	21
2年次	16	0	16
3年次	1	0	1
4年次	1	0	1
総計	2132	545	2677
パーセンテージ	80%	20%	

質問2 春学期の授業開始までに、自分専用のパソコンを購入する予定はありますか？（1つ選択）

※質問1で「いいえ」と答えた学生のみ回答

所属と学年	購入予定なし	購入予定あり（一括支払い）	購入予定あり（分割支払い）	総計
外国語学部 英米語学科 全体	135	49	18	202
1年次	31	46	10	87
2年次	35	2	1	38
3年次	43	1	4	48
4年次	26	0	3	29
外国語学部 スペイン語学科 全体	25	10	3	38
1年次	7	9	2	18
2年次	7	0	1	8
3年次	7	1	0	8
4年次	4	0	0	4
外国語学部 フランス語学科 全体	18	6	3	27
1年次	2	6	3	11
2年次	6	0	0	6
3年次	4	0	0	4
4年次	6	0	0	6
外国語学部 ドイツ語学科 全体	26	6	2	34
1年次	5	5	1	11
2年次	10	0	0	10
3年次	6	1	1	8
4年次	5	0	0	5
外国語学部 ブラジルポルトガル語学科 全体	18	4	1	23
1年次	4	3	1	8
2年次	6	0	0	6
3年次	5	1	0	6
4年次	3	0	0	3

質問2 春学期の授業開始までに、自分専用のパソコンを購入する予定はありますか？（1つ選択）

※質問1で「いいえ」と答えた学生のみ回答

所属と学年	購入予定なし	購入予定あり（一括支払い）	購入予定あり（分割支払い）	総計
外国語学部 中国語学科 全体	40	6	1	47
1年次	14	3	1	18
2年次	8	1	0	9
3年次	8	2	0	10
4年次	10	0	0	10
外国語学部 日本語学科 全体	24	5	5	34
1年次	5	5	3	13
2年次	5	0	0	5
3年次	8	0	1	9
4年次	6	0	1	7
外国語学部 イタリア語学科 全体	23	2	2	27
1年次	3	1	2	6
2年次	6	1	0	7
3年次	7	0	0	7
4年次	7	0	0	7
外国語学部 国際教養学科 全体	4	0	0	4
1年次	0	0	0	0
3年次	1	0	0	1
4年次	3	0	0	3
外国語学部 ロシア語学科 全体	0	4	1	5
1年次	0	4	1	5

質問2 春学期の授業開始までに、自分専用のパソコンを購入する予定はありますか？（1つ選択）

※質問1で「いいえ」と答えた学生のみ回答

所属と学年	購入予定なし	購入予定あり（一括支払い）	購入予定あり（分割支払い）	総計
国際貢献学部 グローバルスタディーズ学科 全体	10	10	4	24
1年次	4	9	4	17
2年次	5	1	0	6
3年次	1	0	0	1
国際貢献学部 グローバル観光学科 全体	21	11	5	37
1年次	4	11	3	18
2年次	10	0	1	11
3年次	7	0	1	8
留学生別科 全体	3	0	0	3
1年次	1	0	0	1
2年次	2	0	0	2
4年次	0	0	0	0
短期大学 全体	21	19	0	40
1年次	8	19	0	27
2年次	13	0	0	13
大学院 全体	0	0	0	0
1年次	0	0	0	0
2年次	0	0	0	0
3年次	0	0	0	0
4年次	0	0	0	0
総計	368	132	45	545
パーセンテージ	68%	24%	8%	

質問3 大学のノートパソコンをレンタルできるのであれば、それを借りたいと思いますか？

(ただし、レンタル料金が必要) (1つ選択)

※質問1で「いいえ」と答えた学生のみ回答

所属と学年	はい	いいえ	総計
外国語学部 英米語学科 全体	58	144	202
1年次	29	58	87
2年次	9	29	38
3年次	10	38	48
4年次	10	19	29
外国語学部 スペイン語学科 全体	17	21	38
1年次	8	10	18
2年次	4	4	8
3年次	2	6	8
4年次	3	1	4
外国語学部 フランス語学科 全体	9	18	27
1年次	4	7	11
2年次	3	3	6
3年次	1	3	4
4年次	1	5	6
外国語学部 ドイツ語学科 全体	10	24	34
1年次	3	8	11
2年次	3	7	10
3年次	2	6	8
4年次	2	3	5
外国語学部 ブラジルポルトガル語学科 全体	3	20	23
1年次	0	8	8
2年次	1	5	6
3年次	2	4	6
4年次	0	3	3
外国語学部 中国語学科 全体	12	35	47
1年次	4	14	18
2年次	2	7	9
3年次	3	7	10
4年次	3	7	10
外国語学部 日本語学科 全体	12	22	34
1年次	6	7	13
2年次	2	3	5
3年次	3	6	9
4年次	1	6	7

質問3 大学のノートパソコンをレンタルできるのであれば、それを借りたいと思いますか？

(ただし、レンタル料金が必要) (1つ選択)

※質問1で「いいえ」と答えた学生のみ回答

所属と学年	はい	いいえ	総計
外国語学部 イタリア語学科 全体	11	16	27
1年次	3	3	6
2年次	3	4	7
3年次	1	6	7
4年次	4	3	7
外国語学部 国際教養学科 全体	0	4	4
1年次	0	0	0
3年次	0	1	1
4年次	0	3	3
外国語学部 ロシア語学科 全体	1	4	5
1年次	1	4	5
国際貢献学部 グローバルスタディーズ学科 全体	7	17	24
1年次	5	12	17
2年次	2	4	6
3年次	0	1	1
国際貢献学部 グローバル観光学科 全体	11	26	37
1年次	2	16	18
2年次	5	6	11
3年次	4	4	8
留学生別科 全体	1	2	3
1年次	1	0	1
2年次	0	2	2
4年次	0	0	0
短期大学 全体	15	25	40
1年次	10	17	27
2年次	5	8	13
大学院 全体	0	0	0
1年次	0	0	0
2年次	0	0	0
3年次	0	0	0
4年次	0	0	0
総計	167	378	545
パーセンテージ	31%	69%	

質問4 パソコンを使用するための自宅のネットワーク環境について教えてください（複数選択可能）

所属と学年	ネットワーク環境なし	テザリング可能	ポケットWi-Fi所有	固定回線使用可能	その他
外国語学部 英米語学科 全体	29	266	96	841	5
1年次	9	67	19	222	1
2年次	4	74	28	196	1
3年次	12	68	31	230	1
4年次	4	56	18	191	2
不明	0	1	0	2	0
外国語学部 スペイン語学科 全体	5	23	9	109	2
1年次	2	5	1	35	0
2年次	1	9	4	35	0
3年次	1	2	4	21	1
4年次	1	7	0	18	1
外国語学部 フランス語学科 全体	5	23	14	100	2
1年次	1	9	2	29	1
2年次	2	6	1	26	0
3年次	1	6	4	19	1
4年次	1	2	7	26	0
外国語学部 ドイツ語学科 全体	6	35	17	105	4
1年次	1	9	3	34	1
2年次	2	12	5	27	0
3年次	2	8	1	22	2
4年次	1	6	8	22	1
外国語学部 ブラジルポルトガル語学科 全体	3	31	14	97	2
1年次	0	11	4	31	1
2年次	1	8	2	22	0
3年次	1	7	5	20	0
4年次	1	5	3	24	1

質問4 パソコンを使用するための自宅のネットワーク環境について教えてください（複数選択可能）

所属と学年	ネットワーク環境なし	テザリング可能	ポケットWi-Fi所有	固定回線使用可能	その他
外国語学部 中国語学科 全体	2	50	18	151	2
1年次	0	14	7	44	1
2年次	1	13	1	35	0
3年次	1	12	3	39	0
4年次	0	11	7	33	1
外国語学部 日本語学科 全体	8	42	18	123	1
1年次	0	13	2	43	0
2年次	1	8	4	25	1
3年次	4	8	5	27	0
4年次	3	13	7	28	0
外国語学部 イタリア語学科 全体	2	34	17	94	1
1年次	1	6	3	21	1
2年次	1	8	5	24	0
3年次	0	10	4	27	0
4年次	0	10	5	22	0
外国語学部 国際教養学科 全体	0	9	3	34	0
1年次	0	0	1	1	0
3年次	0	2	0	6	0
4年次	0	7	2	27	0
外国語学部 ロシア語学科 全体	1	4	1	12	0
1年次	1	4	1	12	0
国際貢献学部 グローバルスタディーズ学科 全体	5	56	24	166	5
1年次	3	25	12	66	0
2年次	1	17	7	52	4
3年次	1	14	5	48	1

質問4 パソコンを使用するための自宅のネットワーク環境について教えてください（複数選択可能）

所属と学年	ネットワーク環境なし	テザリング可能	ポケットWi-Fi所有	固定回線使用可能	その他
国際貢献学部 グローバル観光学科 全体	4	85	34	239	2
1年次	1	23	9	84	0
2年次	2	23	6	76	0
3年次	1	39	19	79	2
留学生別科 全体	0	2	1	6	0
1年次	0	0	1	0	0
2年次	0	1	0	5	0
4年次	0	1	0	0	0
不明	0	0	0	1	0
短期大学 全体	6	33	15	103	1
1年次	3	20	10	62	0
2年次	3	13	5	41	1
大学院 全体	2	13	4	29	1
1年次	1	5	2	16	1
2年次	1	6	1	11	0
3年次	0	1	1	1	0
4年次	0	1	0	1	0
総計	78	706	285	2209	28
パーセンテージ	3%	26%	11%	83%	1%

その他の例は以下

わからない

自宅にwifiがあるがたまに調子の悪い時がある

現在地Wi-Fiがまだ設置されてないがする予定

ケータイ会社に勧められたものを使っています

教員と学生のサポート

- LINEを使ったコンタクトセンターと契約
- チャットと電話両方に対応
- オペレーターは外部委託
- AI自動応答（オプション）
- LINE無い人は電話で

必要なもの

- LINEアカウント（広報室が管理者IDを所有）
- 対応のシナリオ、マニュアル
- 予算（4/10現在 見積り依頼中）

4/13 回答なし
別会社に打診中
(コロナ需要で工数不足か?)

↓

東京のセンターと契約し、
5/21より運用開始しました。

LINE公式アカウントの販売・運用代理パートナーとして、LINEを起点にした企業と消費者のコミュニケーションの業務設計から構築・運用までをワンストップでサポートします。

LINE上でのAI（チャットボット）による自動応答、有人チャット、電話（コールセンター）への切り替え、電話からチャットへの切り替えなど、チャットと電話をシームレスに連携させたハイブリッド型顧客サポートを表現します。



チャット対応業務のノウハウを活かし、課題や目的に合わせた業務設計、AI（チャットボット）用FAQ構築などが可能です。
AI（チャットボット）の導入は行わずに、有人チャット対応のみのご利用も可能です。

パソコンの準備

パソコン調査結果より ※人数は%×実学生数

	%	人数
パソコン		
PC所有率	80%	3937
購入予定あり（一括）	68%	680
購入予定あり（分割）	8%	83
購入しない	24%	244
レンタル希望あり	31%	308
レンタル希望なし	69%	698
ネットワーク		
ネットワーク環境なし	3%	144
デザリング可能	26%	1304
ポケットWi-Fi所有	11%	526
固定回線使用可能	83%	4079
その他	1%	52

PC無い人 約1000人 → 購入を促す

PC推奨だがスマホOKとすることで調達時間に余裕をもたせる。

- 調達方法
- 店舗,netで買う（中古可）
 - パートナーズのお勧めを買う
 - 家のPCを使う

↓

経済的に厳しい学生のみ個別受付で、大学PCをパートナーズ経由で格安レンタル
(梱包送料・事務手数料のみ)

↓

結果、レンタルはありませんでした。

パソコンの準備

オンライン授業対応PC推奨スペック 赤字は最低条件

- OS : Windows10 Home(Pro) 64bit / macOS 10.14 Mojave 以降
- CPU : Intel Core i3 / AMD Ryzen 3 以上
- メモリ : 8GB以上
- ストレージ : SSD 128GB以上
- 無線LAN : IEEE 802.11n 以降
- 画面サイズ : 12インチ以上 フルHD
- バッテリー : 7時間以上
- Webカメラ : あり, マイク内蔵もしくは、音声入力あり
- Office : なし

エントリーグレードで、Windowsなら4万円後半を想定。セキュリティソフトと電話サポートを1年入れて、5万弱くらい。
最低条件を満たせば、中古、家族のお古、より安価なPCでもOKとする。
タブレットを追加する？ (Teams使えればOK?) → **タブレットOKにします**

「オンライン授業はスマホでも受けられます」が基本

パソコンの準備 (量販店やネットで買ってもらう場合)

新品

【セキユリティ強化セット】 エントリーモデル	【新しい働き方セット】 エントリーモデル	【ダイレクトプラス限定！】 ベージックモデル
<p>44,800 (税別) → 30,000 (税別)</p> <p>ご購入はこちら</p>	<p>44,800 (税別) → 32,500 (税別)</p> <p>ご購入はこちら</p>	<p>44,800 (税別) → 42,000 (税別)</p> <p>ご購入はこちら</p>
<p>OS: Windows 10 Home (64bit)</p> <p>プロセッサ: AMD A4-9125</p> <p>カラー: ビュッブホワイト</p> <p>メモリ: 4GB (8GB+1)</p> <p>ディスプレイ: 14.0インチワイド・フルHD プライム・ビュー・95ディスプレイ (1920×1080)</p> <p>内部ストレージ: 128GB SSD (SATA M.2)</p> <p>バッテリー: 最大8時間30分</p> <p>保証: 1年保証 (引き取り修理サービス、パーツ保証、電話サポート)</p>	<p>OS: Windows 10 Home (64bit)</p> <p>プロセッサ: AMD A4-9125</p> <p>カラー: ビュッブホワイト</p> <p>メモリ: 4GB (8GB+1)</p> <p>ディスプレイ: 14.0インチワイド・フルHD プライム・ビュー・95ディスプレイ (1920×1080)</p> <p>内部ストレージ: 128GB SSD (SATA M.2)</p> <p>バッテリー: 最大8時間30分</p> <p>保証: 1年保証 (引き取り修理サービス、パーツ保証、電話サポート)</p>	<p>OS: Windows 10 Home (64bit)</p> <p>プロセッサ: AMD Ryzen™ 3 3200U</p> <p>カラー: ビュッブホワイト</p> <p>メモリ: 8GB (8GB+2)</p> <p>ディスプレイ: 14.0インチワイド・フルHD プライム・ビュー・95ディスプレイ (1920×1080)</p> <p>内部ストレージ: 256GB SSD (PCIe M.2)</p> <p>バッテリー: 最大8時間30分</p> <p>保証: 1年保証 (引き取り修理サービス、パーツ保証、電話サポート)</p>

中古

富士通 LIFEBOOK A553/G (無線LAN子機+マウス+WEBカメラプレゼント) **中古**

この商品を購入する
本体価格 **19,800円**
(税込 21,780円)
中型送料: 1,300円(税別)
オプションを選んで購入する

富士通 LIFEBOOK A553/G (CPU: Celeron B730 1.8GHz/メモリ: 8GB/HDD: 320GB) 在宅勤務にもお助めの3大特典付き! WEB広告

商品番号: 128 398 | 在庫あり | この商品への問い合わせ

新生活応援 SALE

LIFEBOOK A553/G

メモリ: 8GB
HDD: 320GB

在宅ワークにも活躍する3大特典付き!!

Windows 10

新生活応援セット: 無線LAN子機、マウス、WEBカメラ

メリット: 安い デメリット: サポートなし

パソコンの準備 (業者のレンタルを利用する場合)

業者のレンタルは推奨しない
↓
経済的に厳しい学生のみ
大学のPCを送って
個別に対応する

パソコンレンタルサービス価格

価格はご希望内容に合わせて柔軟に対応いたしますのでお気軽にご相談ください。
※記載の価格は48ヶ月契約の場合の参考価格(月額)です。

モデル名	製品内容	参考価格 (税抜)
	バンドル: Office 365 Business HPI 450G5(Win10Pro 64bit) CI5-1.6G/8G/256G/15.6/??/??/動産保険/O365B	4年で168,000円と割高 → 3,500円~
HPI 450G5	バンドル: Office 365 Business Premium HPI 450G5(Win10Pro 64bit) CI5-1.6G/8G/256G/15.6/??/??/動産保険/O365BP	3,940円~
	バンドル: Office 365 Business Lenovo X1 Carbon 2018(Win10Pro) i5-1.7G/8G/SSD256G/14/??/??/動産保険/O365B	5,400円~
Lenovo X1 Carbon 2018	バンドル: Office 365 Business Premium Lenovo X1 Carbon 2018(Win10Pro) i5-1.7G/8G/SSD256G/14/??/??/動産保険/O365BP	5,840円~
	バンドル: Office 365 Business Microsoft SurfaceLaptop2(LQP-00019:W10Prox64) i5/8G/256G/13.5/動産保険/O365B	5,050円~
Surface Laptop 2	バンドル: Office 365 Business Premium Microsoft SurfaceLaptop2(LQP-00019:W10Prox64) i5/8G/256G/13.5/動産保険/O365BP	5,490円~

メリット: 保険つき デメリット: 割高

パソコンの準備
(外大パートナーズを利用する場合)

メリット: 手厚いサポート付きオプションあり
デメリット: 決して安くはない

新品 **hp 250G7** 高速動作SSD搭載モデル!

- CPU: Core i3 7020U (2.3GHz)
- メモリ: 8GB (DDR4)
- SSD: 250GB SSD
- ドライブ: DVDライター
- 画面: 15.6型 (1366x768)
- ソフト: Office別売
- OS: Windows 10 Pro 64bit

HP 250 G7 5KX40AV-AJ1D/8G/S250/W3
79,800円 100台限定

中古 高品質テレワーク用中古PCにパソコンサポート3年間もセットで安心してご利用いただけます!

NEC 中古 PC Windows 10

高品質中古 PC

3年間徹底サポート

Zoomミーティング

大学4年間 月々オンラインでサポートOK! 48ヶ月 24,000円

パソコンを徹底サポート致します!

パソコンご購入後のトラブルも即解決!

大学向けPCテクニカルサポート4年間バック (プレミアムユニバ)

プレミアムUniv

パソコンご購入後のトラブル、修理、パソコン屋さんにもサポートを依頼するとその費用は異様に高いです。このサービスで解決すれば、修理費もサポート料もかかりません。

大学向けPCテクニカルサポート4年間バックに入っていれば安心です!

- 4年間24,000円(月々)に支払うと価格が500円! で様々なサポートが無料で受けることができます!
- お困りに応じたサポートが受けられる!
- トラブル解決!電話&リモートサポートサービスが**無料!**
- 会員様は、様々な技術サポートが**無料!**
- リモートで解決できない場合はお伺いします!出張サポートもなんと**無料!**
- 48ヶ月一括24,000円(月々)に支払うと価格が500円! で様々なサポートが無料で受けることができます!
- ウイルス駆除や詐欺広告削除も**無料!**

パソコンご購入後のトラブルも即解決! **プレミアムUniv**

電話サポート リモートサポート 出張サポート ウィルス駆除 詐欺広告削除

大学向けPCテクニカルサポート4年間バック (プレミアムユニバ)

何んでもOK! 各種設定・アップデート ソフトウェアアップロード トラブル解決

会員様用のカード提示で簡単受付!!

ウイルス駆除詐欺広告削除もOK!

プレミアムUniv 会員様は、技術サポート料金が特別価格(0円~)に!

大学向けPCテクニカルサポート4年間バック 48ヶ月 特別プラン 24,000円

お申込みやお引渡しに関するお問い合わせ窓口 (株)京外大パートナーズ TEL: 075-322-8605

このチラシを配布しました。

通信量について

授業のために月25GB必要
(1授業あたり300MB)

オンライン授業通信量計算

名称	概要	必要ツール	学生側のアクション	どういう授業にむいているか	形式	通信量 (MB)				1ヶ月の通信量① (GB)	① *安全率 1.2	
						1分	100分	1日※1	1月※2			
1 文字型 テキストのみ	Text指示、text資料配付	Manaba, gmail	読む、書く レポート提出	講義	1文字2B、1分30文字タイプ	0.00006	0.006	0.024	0.48	20	20.5	① *安全率 1.2 24.6 大容量の動画ダウンロードはNG ↓ Teamsで録画する (1/10のサイズ)
2 ラジオ型 音声のみ講義	音声のみの講義 配布資料音声講義	Manaba, google drive	音声聞く 音声提出		mp3音声ファイル	0.47	47	188	3760	10	376	
3 音声付き静止画面 ほぼ静止画テレビ 音声付きスライド	配布資料音声講義スライド	Manaba, PPT, google drive			PPT1ページ0.1MB+wma 5分 960KB	0.212	21.2	84.8	1696	20	339.2	
4 ビデオ型1 動画収録(教室) 文字媒体提示なし	配布資料 音声講義スライド		聴く、読む		mp4動画ファイル 720 30P 2.2Mbps	16	1600	6400	128000	0	0	
5 ビデオ型2 動画収録(教室以外) 文字媒体提示あり (PC画面)	配布資料 音声講義板書		聴く、読む		mp4動画ファイル 720 30P 2.7Mbps	20	2000	8000	160000	0	0	
6 ライブ中継型1 (教室) 文字媒体提示なし	配布資料音声講義スライド 板書ダウンロード禁止		聴く、読む		mp4動画ファイル 720 30P 2.7Mbps	20	2000	8000	160000	0	0	
7 ライブ中継型2 (教室以外) 文字媒体提示あり (PC画面)		6よりサイズが小さい	聴く、読む		mp4動画ファイル 720 30P 2.2Mbps	16	1600	6400	128000	0	0	
8 インタラクティブ型1 Google Meet/Microsoft Teams/ Zoom (教室) ライブ			聴く、話す(発表・やりとり)		PC画面共有※動画なし+音声 250kbps	1.79	179	716	14320	20	2864	
9 インタラクティブ型2 Google Meet/Microsoft Teams/ Zoom (教室以外) ライブ			聴く、話す(発表・やりとり)	インタラクション	カメラ映像や動画+音声 1.2Mbps	9	900	3600	72000	20	14400	
その他の通信 (Gmail, manaba, サイト検索など)							126	2520			2520	

※1 1日4コマを想定 ※2 週5日x4週間で計算

通信量について

パソコン調査結果より ※人数は%×実学生数

	%	人数	
パソコン			
PC所有率	80%	3937	
購入予定あり (一括)	68%	680	購入を促す
購入予定あり (分割)	8%	83	購入を促す
購入しない	24%	244	購入を促す
レンタル希望あり	31%	308	
レンタル希望なし	69%	698	
ネットワーク			約1000台
ネットワーク環境なし	3%	144	ルータ必要
テザリング可能	26%	1304	U25支援の範囲内で使ってもらおう?
ポケットWi-Fi所有	11%	526	プランによっては問題 (次頁で説明)
固定回線使用可能	83%	4079	
その他	1%	52	ルータ必要

パートナーズ経由で200台
調達し市価の半額程度で
レンタル。希望者はサイト
から申込み

法人販売は価格が上り
1台8000円を超えるため
学生にメリットなし

個人で準備してもらう

通信費の補助

学内PCの使用を認める

通信量について（ポケットWiFi比較）

	△	○	×	○	○
	Docomo (Xi)	au	SoftBank	Y!mobile	UQ WiMAX
短期制限	なし	3日で10GB	3日で1GB	3日で10GB	3日で10GB
短期速度制限	なし	1Mbps (18:00~2:00まで)	128kbps	1Mbps (18:00~1:00まで)	1Mbps (18:00~2:00まで)
月間制限	7~30GB 契約量を超える	通常プラン：7GB EXプラン：なし	7~50GB 契約量を超える	通常プラン：7GB 無制限プラン：なし	通常プラン：7GB ギガ放題：なし
月間制限速度	128kbps	通常プラン：128kbps EXプラン：なし	128kbps	通常プラン：128kbps 無制限プラン：なし	通常プラン：128kbps ギガ放題：なし

docomo, Softbank
は容量不足でNG
ベストはUQ WiMAX

ライトプラン（通常プラン）
では容量不足
↓
プラン変更を促す

通信費の補助

学内PCの使用を認める

通信量について（スマホ各社U25支援比較）

docomo

～5/31まで 50GB 「1GB追加オプション」、「スピードモード」のページから追加する。

https://www.nttdocomo.co.jp/info/notice/page/200403_00.html

Softbank, Y!mobile

～4/30まで 50GB・テザリング無料、My Softbankページで申込み

https://www.Softbank.jp/corp/set/data/news/info/2020/20200403_01/pdf/20200403_01.pdf

KDDI (au)

～4/30まで 50GB・テザリング無料、データチャージで追加

<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2020/04/03/4364.html>

UQ mobile

～4/30まで 30GB

https://www.uqwimax.jp/annai/news_release/202004061.html

MVNO,格安SIM 全55社中U25支援を表明7社

OCNモバイルONE (5/31,10GB)、BIGLOBEモバイル (4/30,20GB)、IJJ mio (30GBクーポン)

LINE MOBILE (4/30 10GB)、mineo (4/30 10GB)、NifMO (5/31 20GB)、y.u mobile (5/6 25GB)

U25支援使えるのはdocomoのみ
他は期限切れの可能性あり
格安SIMは容量不足

↓
プラン変更を促す

通信費の補助

学内PCの使用を認める

結果、数名の学生が学内のPCを利用しました。

アンケート調査結果

1 調査概要

調査項目：遠隔授業等のアンケート
調査対象：全学生(4911人)

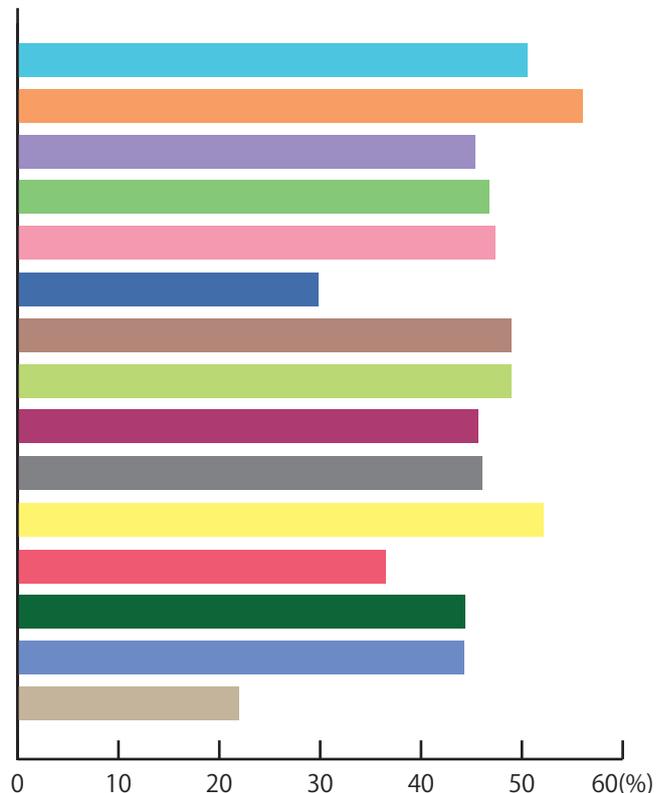
回答期間：2020年6月2日19時30分～6月9日9時
総回答数：2371件

2 回答者属性

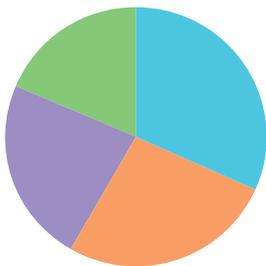
【回答数】2371件

■ 所属

■ 大学院	42件<50.6%>
■ 学部英米語学科	1053件<56.0%>
■ 学部スペイン語学科	123件<45.4%>
■ 学部フランス語学科	109件<46.8%>
■ 学部ドイツ語学科	108件<47.4%>
■ 学部ブラジルポルトガル語学科	70件<29.8%>
■ 学部中国語学科	151件<49.0%>
■ 学部日本語学科	124件<49.0%>
■ 学部イタリア語学科	102件<45.7%>
■ 学部国際教養学科	41件<46.1%>
■ 学部ロシア語学科	12件<52.2%>
■ 学部グローバルスタディーズ学科	112件<36.5%>
■ 学部グローバル観光学科	177件<44.4%>
■ 短期大学キャリア英語科	136件<44.3%>
■ 留学生別科	11件<22.0%>

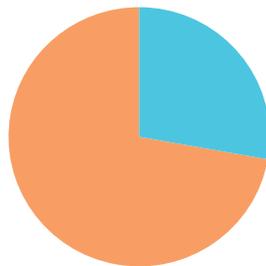


■ 年次



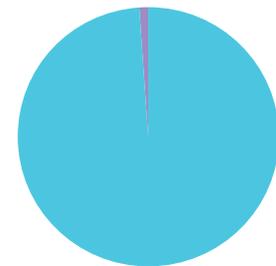
■ 1年次	753件<31.8%>
■ 2年次	631件<26.6%>
■ 3年次	551件<23.2%>
■ 4年次	436件<18.4%>

■ 性別



■ 男	663件<28.0%>
■ 女	1708件<72.0%>

■ 在席状態



■ 通常(在学)	2347件<99.0%>
■ 休学	3件<0.1%>
■ 留学	21件<0.9%>

3 回答結果

遠隔授業について

パソコンモバイル環境に対して

Q1. スマートフォンを所有していますか？(ひとつだけ)



【回答数】 2369件

■ はい:2300件<97.1%> ■ いいえ:69件<2.9%>

Q2. スマートフォンを使用するための自宅のネットワーク環境について教えてください。(ひとつだけ)



【回答数】 2356件

■ LTEなど公衆回線:133件<5.6%> ■ ポケットWi-Fi:119件<5.1%> ■ 固定回線+Wi-Fi:2104件<89.3%>

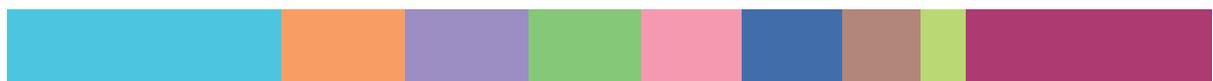
上記の質問で「LTEなど公衆回線」「ポケットWi-Fi」を選択した人のみ回答してください。
1ヵ月のデータ通信料の上限を教えてください



【回答数】 240件

■ 上限なし:128件<53.3%> ■ 上限あり:112件<46.7%>

上限ありの場合のGB数



【回答数】 108件

■ 50GB:25件<23.1%> ■ 20GB:11件<10.2%> ■ 30GB:11件<10.2%> ■ 10GB:10件<9.3%>
 ■ 7GB:9件<8.3%> ■ 60GB:9件<8.3%> ■ 5GB:7件<6.5%> ■ 100GB:4件<3.7%>
 ■ その他:22件<20.4%>

Q3. タブレットを所有していますか？(ひとつだけ)



【回答数】 2363件

■ はい:715件<30.3%> ■ いいえ:1648件<69.7%>

Q4. タブレットを使用するための自宅のネットワーク環境について教えてください。(ひとつだけ)



【回答数】1248件

■ LTEなど公衆回線:43件<3.4%> ■ スマートフォンのテザリング:37件<3.0%>
 ■ ポケットWi-Fi:69件<5.5%> ■ 固定回線+Wi-Fi:1099件<88.1%>

上記の質問で「LTEなど公衆回線」「ポケットWi-Fi」を選択した人のみ回答してください。
 1カ月のデータ通信料の上限を教えてください



【回答数】101件

■ 上限なし:64件<63.4%> ■ 上限あり:37件<36.6%>

上限ありの場合のGB数



【回答数】30件

■ 50GB:6件<20.0%> ■ 10GB:4件<13.3%> ■ 30GB:4件<13.3%> ■ 7GB:4件<13.3%>
 ■ 100GB:2件<6.7%> ■ 20GB:2件<6.7%> ■ 60GB:2件<6.7%> ■ その他:6件<20.0%>

Q5. 自分専用のパソコンを所有している人は種類を教えてください。(ひとつだけ)



【回答数】2354件

■ Windows (カメラあり):1460件<62.0%> ■ Windows (カメラなし):139件<5.9%>
 ■ Mac (カメラあり):516件<21.9%> ■ Mac (カメラなし):12件<0.5%>
 ■ 所有していない:227件<9.6%>

上記の質問でパソコンを所有しているを選択した人のみ回答してください。
 パソコンを使用するための自宅のネットワーク環境について教えてください。



【回答数】2120件

■ ネットワーク環境なし:15件<0.7%> ■ スマートフォンのテザリング:30件<1.4%>
 ■ ポケットWi-Fi:116件<5.5%> ■ 固定回線+Wi-Fi:1781件<84.0%> ■ 固定回線+有線LAN:178件<8.4%>

上記の質問で「ポケットWi-Fi」を選択した人のみ回答してください。
 1カ月のデータ通信料の上限を教えてください。



【回答数】109件

■ 上限なし:70件<64.2%> ■ 上限あり:39件<35.8%>

上限ありの場合のGB数



【回答数】 36件

■ 10GB: 8件<22.2%> ■ 7GB: 7件<19.4%> ■ 50GB: 6件<16.7%> ■ 100GB: 4件<11.1%>
 ■ 20GB: 2件<5.6%> ■ 30GB: 2件<5.6%> ■ その他: 7件<19.4%>

Q6. 遠隔授業では, どのデバイスを主に使用していますか? (ひとつだけ)



【回答数】 2363件

■ パソコン: 1948件<82.4%> ■ タブレット: 201件<8.5%> ■ スマートフォン: 214件<9.1%>

Q7. 自宅にプリンターはありますか? (ひとつだけ)



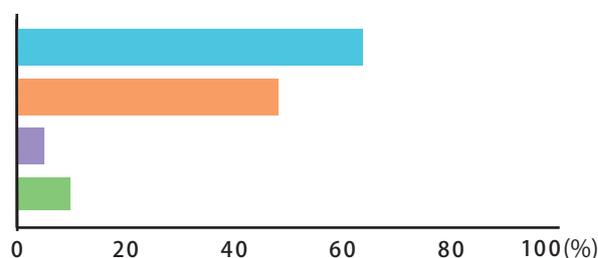
【回答数】 2367件

■ はい: 1425件<60.2%> ■ いいえ: 942件<39.8%>

上記の質問で「いいえ」を選択した人のみ回答してください。
 自宅から徒歩圏内にあるコンビニエンスストアを教えてください。

【回答数】 932件

■ ローソン・ファミリーマート: 595件<63.8%>
 ■ セブン-イレブン: 449件<48.2%>
 ■ その他のコンビニ: 47件<5.0%>
 ■ 徒歩圏内にない: 92件<9.9%>

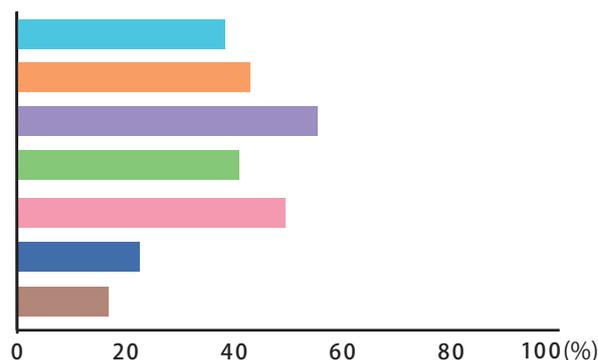


遠隔授業全般に対して

Q8. オンライン授業で困ったことはありますか? (複数回答可)

【回答数】 2189件

■ 先生に質問がしにくい: 840件<38.4%>
 ■ 友達に相談しにくい: 942件<43.0%>
 ■ 課題が多い: 1213件<55.4%>
 ■ 授業のペースがつかみにくい: 895件<40.9%>
 ■ 集中力が続かない: 1083件<49.5%>
 ■ 孤独感を感じる: 495件<22.6%>
 ■ その他: 367件<16.8%>



現在及びこれからの履修、単位修得、資格取得について

Q9. 履修登録について不安はありますか？(ひとつだけ)



【回答数】2368件

■とても不安である:455件<19.2%> ■やや不安である:968件<40.9%>

■あまり不安ではない:589件<24.9%> ■不安はない:356件<15.0%>

Q10. 単位修得、進級(卒業)について不安はありますか？(ひとつだけ)



【回答数】2367件

■とても不安である:640件<27.0%> ■やや不安である:1049件<44.3%>

■あまり不安ではない:428件<18.1%> ■不安はない:250件<10.6%>

Q11. 資格取得、免許状取得について不安はありますか？(ひとつだけ)



【回答数】2349件

■とても不安である:548件<23.3%> ■やや不安である:985件<41.9%>

■あまり不安ではない:481件<20.5%> ■不安はない:335件<14.3%>

現在及びこれからの大学生活について

Q12. 電車・バス等の公共交通機関での通学について不安はありますか？(ひとつだけ)



【回答数】2364件

■とても不安である:741件<31.3%> ■やや不安である:642件<27.2%>

■あまり不安ではない:430件<18.2%> ■不安はない:551件<23.3%>

Q13. 就職活動について不安はありますか？(ひとつだけ)



【回答数】2360件

■とても不安である:1246件<52.8%> ■やや不安である:724件<30.7%>

■あまり不安ではない:237件<10.0%> ■不安はない:153件<6.5%>

Q14. 課外活動(クラブ・サークル等)について不安はありますか?(ひとつだけ)



【回答数】2345件

■とても不安である:393件<16.8%> ■やや不安である:516件<22.0%>
 ■あまり不安ではない:433件<18.5%> ■不安はない:1003件<42.8%>

授業や学内の諸活動に対する大学の対応について

Q15. 今回の新型コロナウイルスへの大学の対応についてどう感じていますか?(ひとつだけ)



【回答数】2358件

■とても満足:234件<9.9%> ■満足:1299件<55.1%>
 ■不満:632件<26.8%> ■とても不満:193件<8.2%>

生活環境等について

生活環境に対して

Q16. 現在, お住まいの地域について教えてください。(ひとつだけ)



【回答数】2367件

■京都府:955件<40.3%> ■滋賀県:188件<7.9%> ■大阪府:639件<27.0%>
 ■兵庫県:211件<8.9%> ■奈良県:98件<4.1%> ■その他:276件<11.7%>

Q17. 現在のお住まいの状況について教えてください。(ひとつだけ)



【回答数】2366件

■家族と同居:1654件<69.9%> ■一人暮らし:661件<27.9%> ■寮:5件<0.2%>
 ■シェアハウス友人等と同居:32件<1.4%> ■その他:14件<0.6%>

Q18. 現在一人暮らし(下宿・寮・シェアハウス等)をしている人あるいは遠隔授業開始までは一人暮らしをしていた人にお聞きします。現在はどちらで過ごしていますか?(ひとつだけ)



【回答数】1073件

■一人暮らしをそのまま継続:535件<49.9%> ■一人暮らしをしていたが実家に戻った:363件<33.8%>
 ■実家と下宿・寮などを行ったり来たりしている:62件<5.8%> ■その他:113件<10.5%>

自身の体調等に対して

Q19. 現在の身体的な健康状態はいかがですか？(ひとつだけ)



【回答数】 2368件

■ 良い:1936件<81.8%> ■ 悪い:86件<3.6%> ■ どちらともいえない:346件<14.6%>

Q21. 現在の精神的なストレスはいかがですか？(ひとつだけ)



【回答数】 2364件

■ 強く感じる:398件<16.8%> ■ 感じる:981件<41.5%>
■ あまり感じない:738件<31.2%> ■ 感じない:247件<10.4%>

Q22. 自身が新型コロナウイルスに感染するかもしれないという不安はありますか？(ひとつだけ)



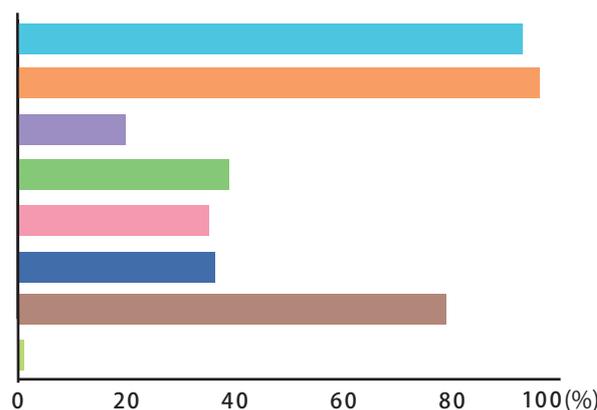
【回答数】 2362件

■ かなり不安である:451件<19.1%> ■ やや不安である:885件<37.5%>
■ どちらともいえない:697件<29.5%> ■ 全く不安ではない:329件<13.9%>

Q23. 新型コロナウイルス感染予防・拡大防止について、取り組んでいることは何ですか？(複数回答可)

【回答数】 2347件

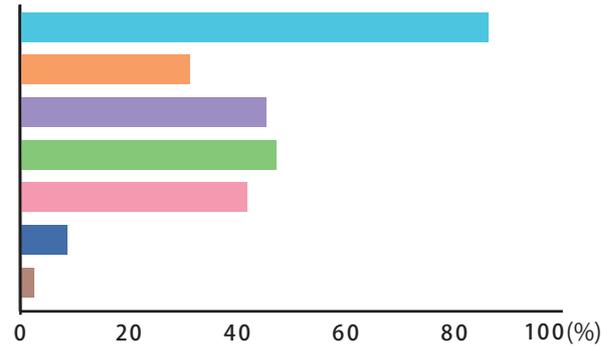
■ 手洗い・うがい:2182件<93.0%>
■ マスク着用:2256件<96.1%>
■ 体温の計測:464件<19.8%>
■ 十分な睡眠:912件<38.9%>
■ 食事の栄養バランス:826件<35.2%>
■ 適度な運動:854件<36.4%>
■ 不要不急の外出を控える:1852件<78.9%>
■ その他:25件<1.1%>



Q24. 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、今後、日常生活で不安を感じる場所を教えてください。
(複数回答可)

【回答数】2289件

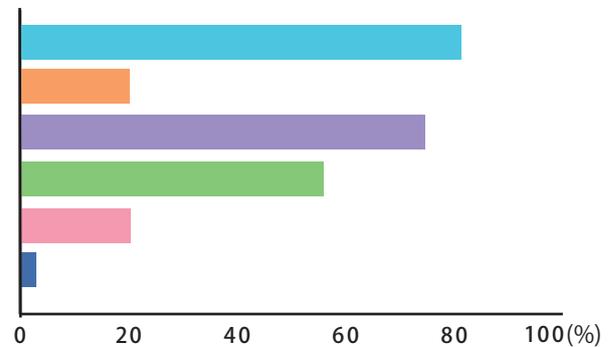
- 電車やバス等公共交通機関：1974件<86.2%>
- スーパーやコンビニ：714件<31.2%>
- 飲食店：1038件<45.3%>
- 病院：1077件<47.1%>
- バイト先：959件<41.9%>
- 友人・知人の家：196件<8.6%>
- その他：59件<2.6%>



Q25. 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、今後、大学内施設で不安を感じる場所を教えてください。
(複数回答可)

【回答数】2227件

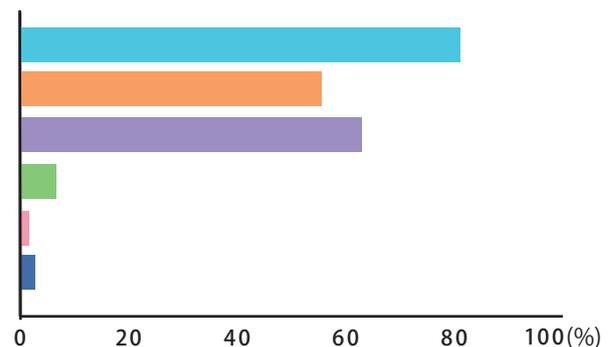
- 教室：1811件<81.3%>
- 研究室や事務室：448件<20.1%>
- 食堂：1659件<74.5%>
- トイレ：1243件<55.8%>
- 課外活動：455件<20.4%>
- その他：66件<3.0%>



Q26. 不安や困りごとがあった時の相談相手を教えてください。(複数回答可)

【回答数】2302件

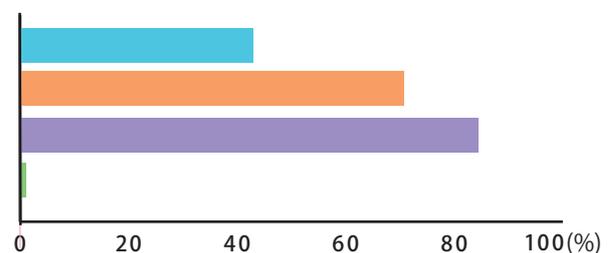
- 家族・親戚：1867件<81.1%>
- 大学の友人：1280件<55.6%>
- 大学以外の友人：1451件<63.0%>
- 大学の教職員、学生相談室等：151件<6.6%>
- 学外の医療機関、相談機関等：40件<1.7%>
- その他：65件<2.8%>



Q27. 相談相手とのコミュニケーションツールは何ですか？(複数回答可)

【回答数】2315件

- 直接会う：993件<42.9%>
- 電話等で「話す」：1637件<70.7%>
- SNSやLINE等「文字やチャット」：1954件<84.4%>
- その他：26件<1.1%>



経済状態に対して

Q28. 学生生活に関わる費用(学費を含む)はどのように支払っていますか?(ひとつだけ)



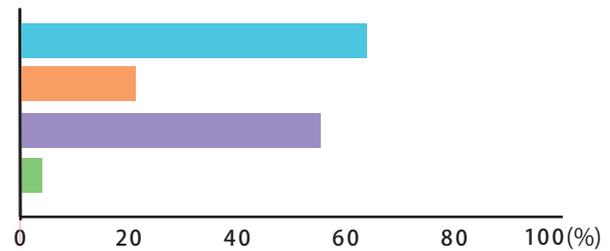
【回答数】2359件

■ 全て保護者が支払っている:1307件<55.4%> ■ 一部保護者以外の収入を利用している:885件<37.5%>
■ 全て自身が支払っている:167件<7.1%>

Q29. 「一部保護者以外の収入を利用している人」にお聞きします。その収入源は何ですか?(複数回答可)

【回答数】959件

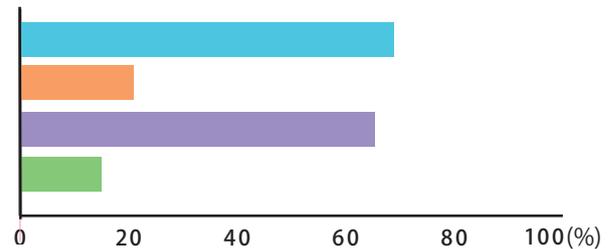
■ 奨学金(貸与):613件<63.9%>
■ 奨学金(給付):204件<21.3%>
■ アルバイト収入:530件<55.3%>
■ その他:39件<4.1%>



Q30. 「全て自身が支払っている人」にお聞きします。その収入源は何ですか?(複数回答可)

【回答数】202件

■ 奨学金(貸与):139件<68.8%>
■ 奨学金(給付):42件<20.8%>
■ アルバイト収入:132件<65.3%>
■ その他:30件<14.9%>



Q31. 保護者の収入について、4月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響で変化はありますか?(ひとつだけ)



【回答数】2347件

■ かなり減少した:396件<16.9%> ■ やや減少した:689件<29.4%>
■ ほとんど変わらない:627件<26.7%> ■ 分からない:635件<27.1%>

Q32. 自身の収入について、4月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響で変化はありますか？
(ひとつだけ)



【回答数】 2261件

■ かなり減少した：1142件〈50.5%〉 ■ やや減少した：414件〈18.3%〉
■ ほとんど変わらない：465件〈20.6%〉 ■ 分からない：240件〈10.6%〉

Q33. 今後、経済的な不安を感じますか。(ひとつだけ)



【回答数】 2354件

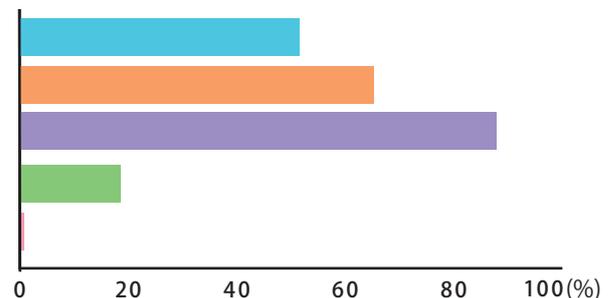
■ かなり不安である：989件〈42.0%〉 ■ やや不安である：831件〈35.3%〉
■ どちらともいえない：391件〈16.6%〉 ■ 全く不安ではない：143件〈6.1%〉

大学からの情報発信について

Q34. 大学から発信された情報はどのように確認していますか？(複数回答可)

【回答数】 2343件

■ 大学ホームページ：1207件〈51.5%〉
■ Web Campus：1530件〈65.3%〉
■ メール受信：2060件〈87.9%〉
■ 友人からのSNS：439件〈18.7%〉
■ 見ていない：18件〈0.8%〉



Q35. 大学から発信された情報の内容についてどう思いましたか？(ひとつだけ)



【回答数】 2348件

■ とても満足：127件〈5.4%〉 ■ 満足：1631件〈69.5%〉
■ 不満：496件〈21.1%〉 ■ とても不満：94件〈4.0%〉

ご協力ありがとうございました。

「遠隔授業に関するアンケート」報告書

【対象（教員）】

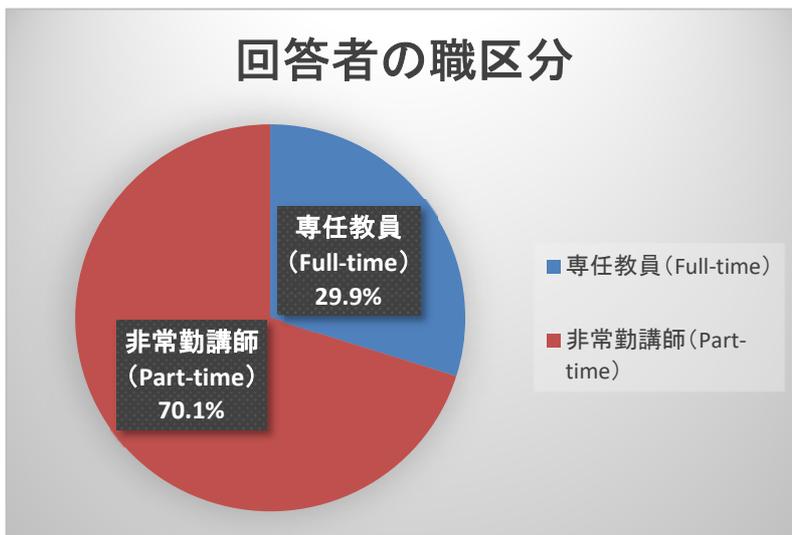
専任（日本人）	95名
専任（外国人）	37名
非常勤（日本人）	297名
非常勤（外国人）	115名
合計	544名

【回答】 231名（回答率 42.5%）

【アンケート回答】

◎回答者の職区分

- ・専任教員……[69名（29.9%）]
- ・非常勤講師…[162名（70.1%）]

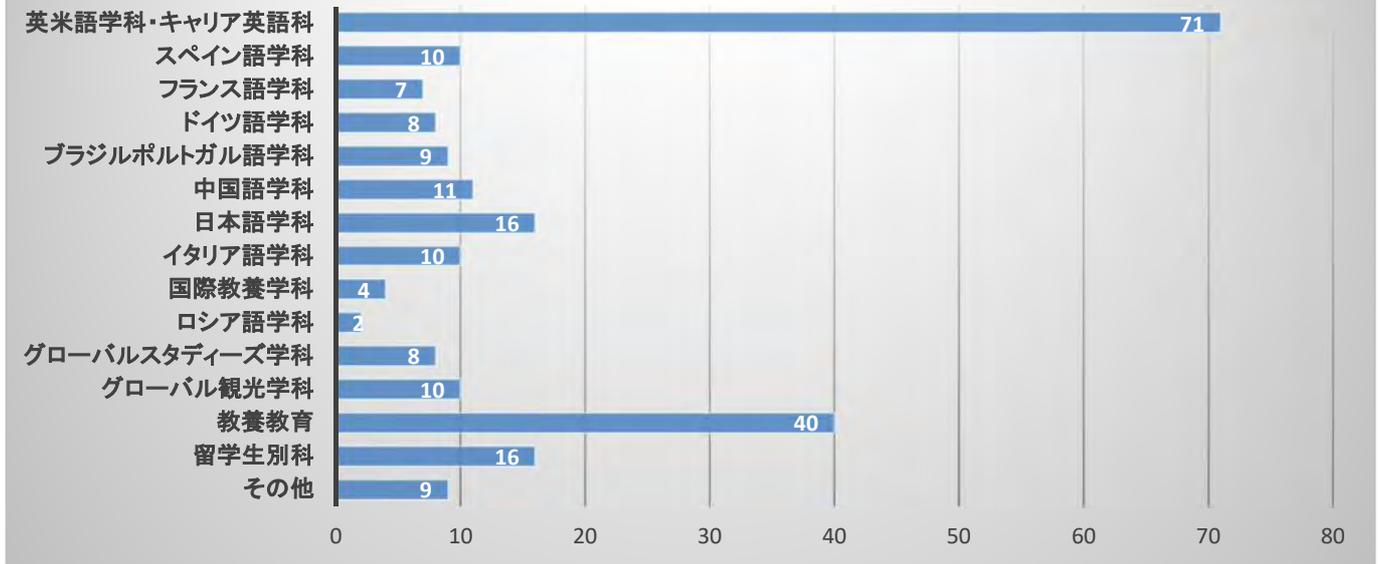


◎担当学科（主担当科目の学科）について

- ・英米語学科・キャリア英語科…[71名（30.9%）]
- ・スペイン語学科……………[10名（4.3%）]
- ・フランス語学科……………[7名（3.0%）]
- ・ドイツ語学科……………[8名（3.4%）]
- ・ブラジルポルトガル語学科…[9名（3.9%）]
- ・中国語学科……………[11名（4.8%）]
- ・日本語学科……………[16名（7.0%）]
- ・イタリア語学科……………[10名（4.3%）]
- ・国際教養学科……………[4名（1.7%）]
- ・ロシア語学科……………[2名（0.9%）]
- ・グローバルスタディーズ学科…[8名（3.4%）]
- ・グローバル観光学科……………[10名（4.3%）]

- ・教養教育（資格課程含む） ……[40名（17.3%）]
- ・留学生別科 ……[16名（6.9%）]
- ・その他 ……[9名（3.9%）]

担当学科(主担当学科)

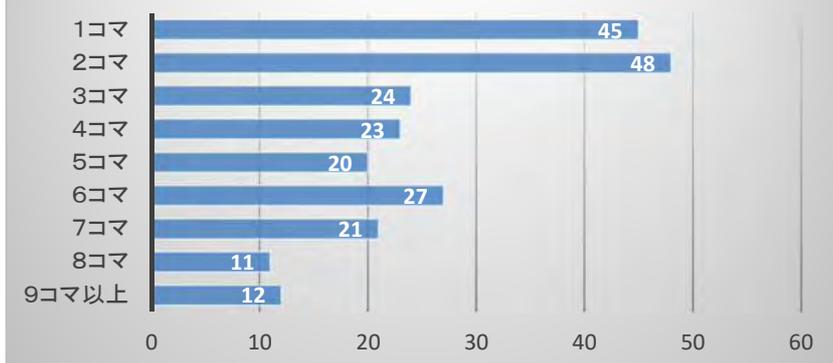


◎担当授業数は週何コマでしょうか。

(複数人で担当している場合やオムニバス講義などの場合も1コマとしてカウントしてください。)

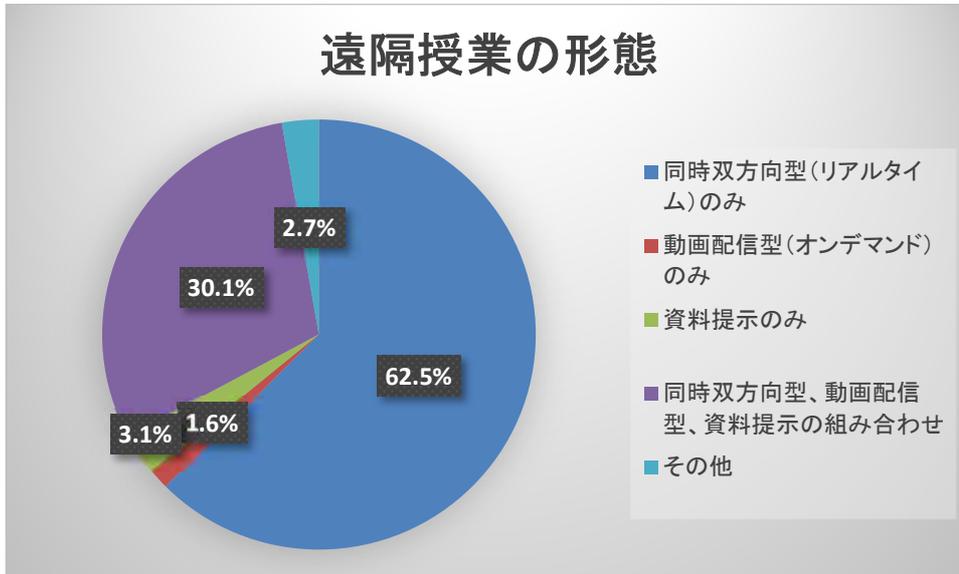
- ・1コマ ……[45 (19.5%)]
- ・2コマ ……[48 (20.8%)]
- ・3コマ ……[24 (10.4%)]
- ・4コマ ……[23 (9.9%)]
- ・5コマ ……[20 (8.7%)]
- ・6コマ ……[27 (11.7%)]
- ・7コマ ……[21 (9.1%)]
- ・8コマ ……[11 (4.7%)]
- ・9コマ以上 ……[12 (5.2%)]

担当授業コマ数



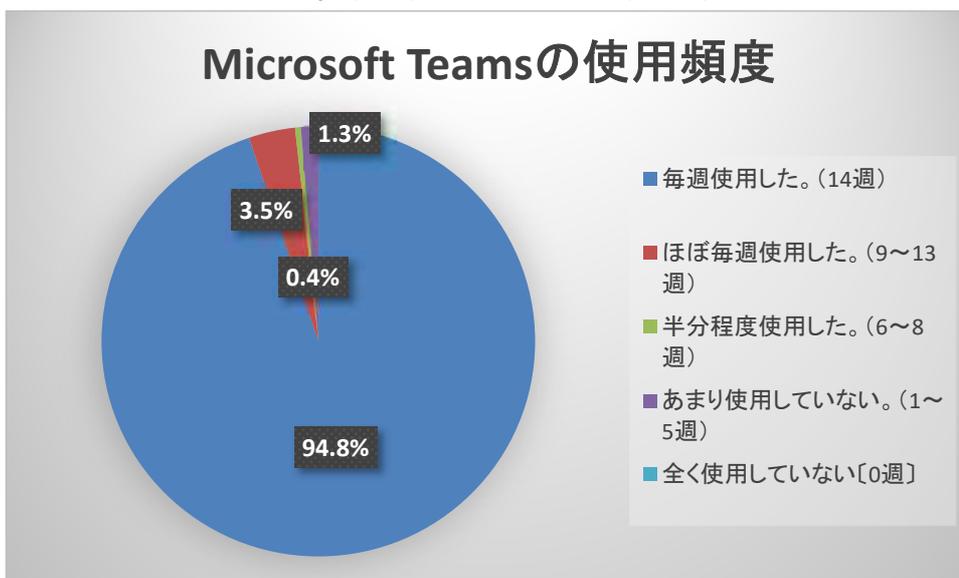
◎春学期の遠隔授業は、どの形態でしたでしょうか。(複数選択可)

- ・同時双方向型(リアルタイム)のみ……………[160 (62.5%)]
- ・動画配信型(オンデマンド)のみ……………[4 (1.6%)]
- ・資料提示のみ……………[8 (3.1%)]
- ・同時双方向型、動画配信型、資料提示の組み合わせ…[77 (30.1%)]
- ・その他……………[7 (2.7%)]



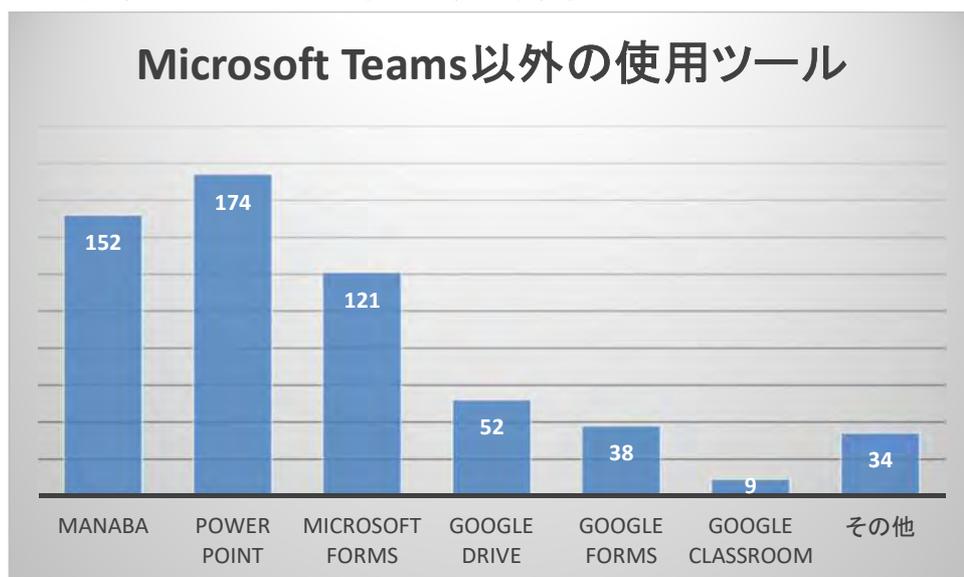
◎Microsoft Teams は使用しましたか。担当授業全体の平均として回答ください。

- ・毎週使用した。(14週) ……………[219 (94.8%)]
- ・ほぼ毎週使用した。(9～13週) ……[8 (3.5%)]
- ・半分程度使用した。(6～8週) ……[1 (0.4%)]
- ・あまり使用していない。(1～5週) …[3 (1.3%)]
- ・全く使用していない。(0週) ……[0 (0%)]



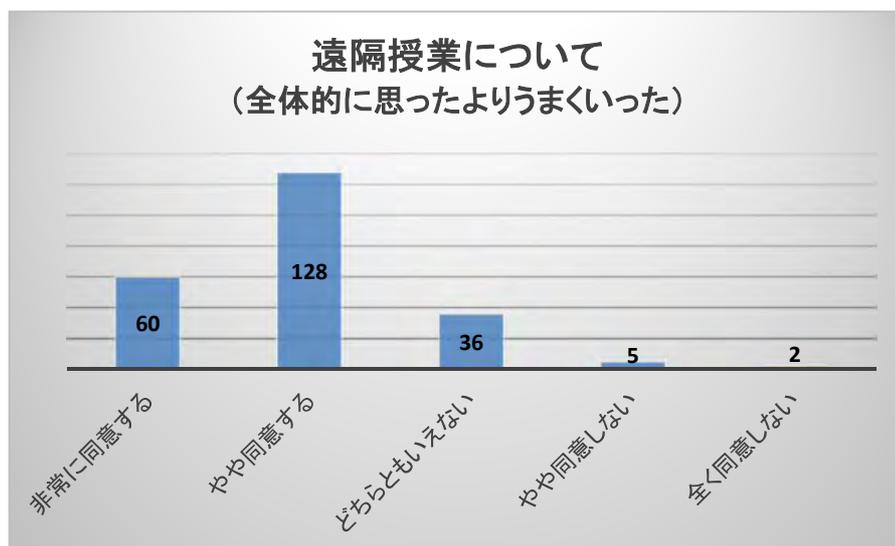
◎Microsoft Teams 以外のツールで使ったものを選んでください。(複数回答可)

- ・ Manaba……………[152 (26.2%)]
- ・ Power Point……………[174 (30.0%)]
- ・ Microsoft Forms……………[121 (20.9%)]
- ・ Google Drive ……………[52 (9.0%)]
- ・ Google Forms……………[38 (6.5%)]
- ・ Google Classroom……………[9 (1.5%)]
- ・ その他 ……………[34 (5.9%)]



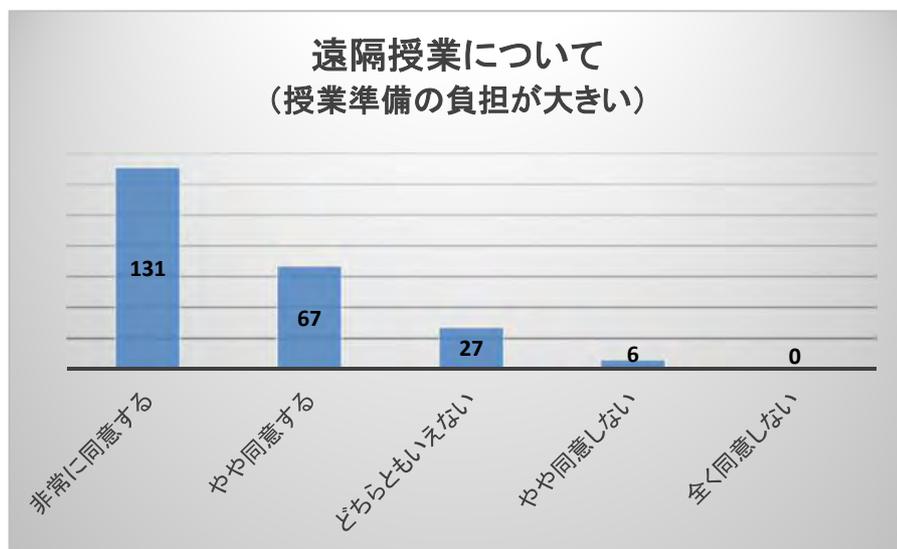
◎春学期の遠隔授業についてどう感じましたか？

- 全体的に思ったよりうまくいった
- ・ 非常に同意する……………[60 (26.0%)]
- ・ やや同意する……………[128 (55.4%)]
- ・ どちらともいえない…[36 (15.6%)]
- ・ やや同意しない……………[5 (2.2%)]
- ・ 全く同意しない……………[2 (0.8%)]



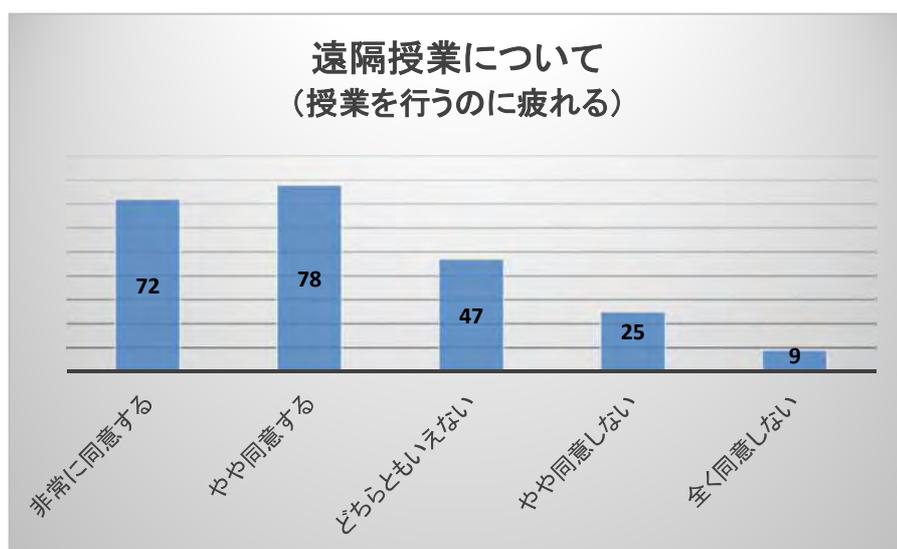
●授業準備の負担が大きい

- ・非常に同意する……………[131 (56.7%)]
- ・やや同意する……………[67 (29.0%)]
- ・どちらともいえない…[27 (11.7%)]
- ・やや同意しない……………[6 (2.6%)]
- ・全く同意しない……………[0 (0%)]



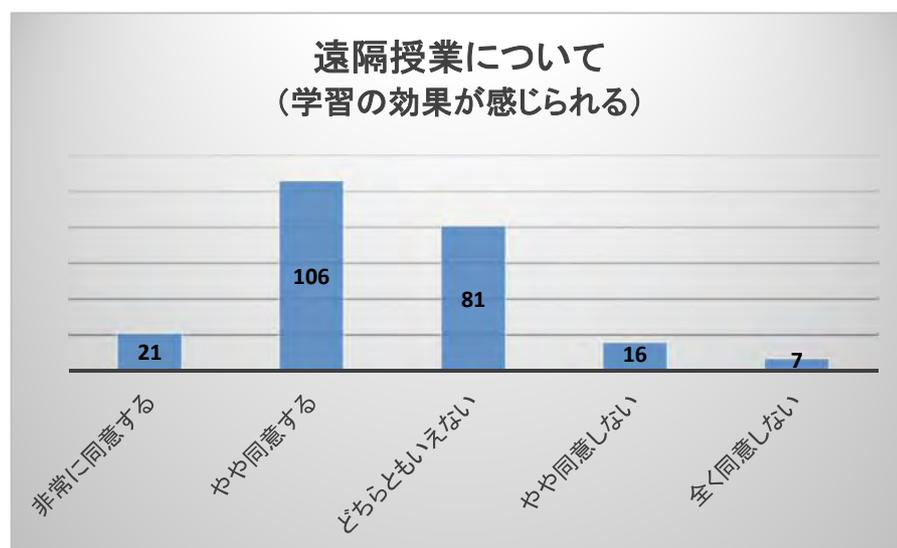
●授業を行うのに疲れる

- ・非常に同意する……………[72 (31.2%)]
- ・やや同意する……………[78 (33.8%)]
- ・どちらともいえない…[47 (20.3%)]
- ・やや同意しない……………[25 (10.8%)]
- ・全く同意しない……………[9 (3.9%)]



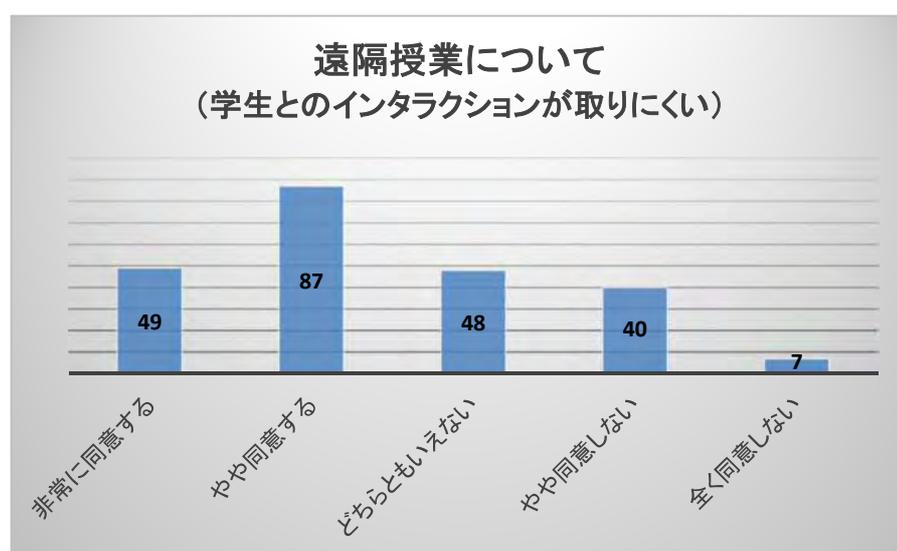
●学習の効果が感じられる

- ・非常に同意する……………[21 (9.1%)]
- ・やや同意する……………[106 (45.9%)]
- ・どちらともいえない…[81 (35.1%)]
- ・やや同意しない……………[16 (6.9%)]
- ・全く同意しない……………[7 (3.0%)]



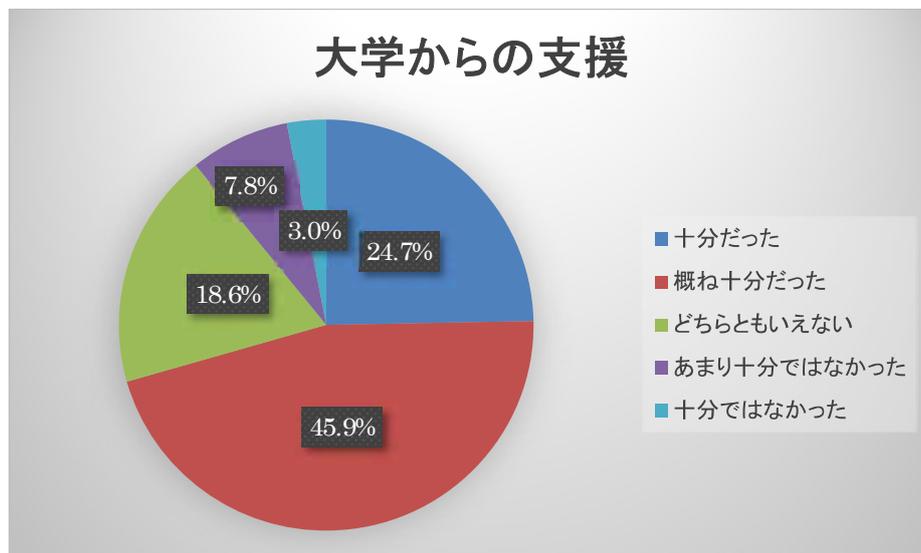
●学生とのインタラクションが取りにくい

- ・非常に同意する……………[49 (21.2%)]
- ・やや同意する……………[87 (37.7%)]
- ・どちらともいえない…[48 (20.8%)]
- ・やや同意しない……………[40 (17.3%)]
- ・全く同意しない……………[7 (3.0%)]



◎遠隔授業の実施にあたり、大学からの支援は十分でしたか？

- ・十分だった……………[57 (24.7%)]
- ・概ね十分だった……………[106 (45.9%)]
- ・どちらともいえない……………[43 (18.6%)]
- ・あまり十分ではなかった…[18 (7.8%)]
- ・十分ではなかった……………[7 (3.0%)]



2020/5/30 13:00-15:00

オンラインFD分科会第1分科会（講義系科目）

第1分科会では、講義系科目を対象に意見交換を行った。特に、遠隔授業で問題となる「学生とのコミュニケーション」の取り方についての工夫や、遠隔授業特有の質問と回答、問題点と解決策を共有した。

1. 学生とどのようにコミュニケーションをとっているか。

- ①投票機能を使っている(Forms、投稿画面で作れる)
- ②挙手機能を使っている
- ③毎回関心を持ったことを1000字程度Formsで書いてもらい、フィードバックをした。
- ④授業の途中に会議を切り、課題をやってもらう。
- ⑤履修人数が300人いる。ライブイベントで授業をしているが、挙手機能があっても一瞬で確認できない。会議チャットも使っているが、見る余裕がない。そこで、Formsで言いたいことを聞いてみる欄を追加したら、100以上の意見が来た。
- ⑥学生どうしが最初に顔出し自己紹介をする。

3. 遠隔授業に関する質問と回答

Q1. 学生の顔出しはしてもらえるのか。他大学ではしている先生もいる。

A1-1 強制はできない。

A1-2 ゼミでは前の週に、来週は顔出しをすることとその目的を伝えている。

Q2. グループワークのレコーディングはしてもいいのか。

A2-1 レコーディングはしていないが、チャットのコピペも含めて「ディスカッション報告」を意見をもらった学生が宿題としてまとめている。

A2-2 必然性が納得できる理由をちゃんと説明し、言い方に気を付けることが重要。学生が開いた会議は、録画はできない。

A2-3 学生はレコーディングは嫌がる。

Q3. 板書とPPTの切り替えが難しい。

A3-1 PPTで白紙のスライドを追加し、メモ欄として使う。

A3-2 デスクトップを画面共有すると、PPTとWordを簡単に切り替えられる。

Q4. 学生が見つめてきたネットの動画を学生が画面共有することはできるのか。

A4-2 できると思う。Macは音声が出にくい。

Q5. パソコンで音声を流すと学生には聞こえない。

A5 共有を開くと「システムオーディオを共有する」があるので、それをクリックするとできる。ほかのファイルを共有すると切れることがあるので注意。

Q6. テストがしにくい。課題提出で成績をつける授業が多く、課題過多になっている。パソコンに向き合う時間が長く、学生たちが心配である。

A6-1. 他大学ではオンライン授業で課題が増えたという学生が9割を超えている。オンライン授業では沈黙が怖いこともあり、授業中に課題を出している。

A6-2 課題を2つ課していたが、一つは授業内、一つは宿題としている。

Q7. デバイスごとに課題にかかる時間が異なる。どのように対処されているか。

A7-1 Teamsでの遠隔授業を導入する際、デバイスは授業を受講することだけを想定してスマホでも可としていたが、授業中にレポートを書く（授業中にデバイスで作業をする内容が含まれる）ことまで想定していなかったのではないか。

A7-2 教務部ではデバイス環境が全くない学生には、大学に来てもらっていたが、6月からは誰もいない。

Q8. 替え玉が可能（録音課題など）。まじめにやっている学生のモチベーションの低下にもつながる。対処方法は？

A8 学生の声を覚えておく。

Q9. 録画について。自動的に自分のクラスに上がるが、そのままでもいいのか。

A9 そのままでいい。速度が遅くなることもないと思う。

Q10. グループワークが終わって戻ってくる方法。何かいい方法はないか。

A10-1 一つずつ会議に入って、「あと何分」と促している。

A10-2 メンション機能を使って呼びかける。

Q11. Formsで作った課題を単独で使えるのか。

A11 TeamsはOffice365に入っているので、今後も使える。

Q12. 最終の受講一覧が受講者が減っていて250人を切っていればライブイベントにしくてもいいのか？

A12 追加・取り消し作業は手作業になるので時間がかかるが、完了して250人以下だったらビデオ会議にしてもいい。

3. 授業中のトラブルその他の情報共有

- ・登録している学生が会議に入れないことがあった。手動で招待して解決した。
- ・学生から Teams へのアップロードの仕方がわからないという質問が多くあった。manaba のほうがレポートの提出はしやすいかもしれない。Gmail 添付で提出するとトラブルは少ない。音声も添付可。
- ・携帯ではフリックを使った方が入力しやすいが、編集ができないと学生が言っている。

4. オンライン授業の利点と欠点

<利点>

- ・チャットのほうが議論が進む
- ・レポートの出来が良い。
- ・学生が学習に対して真摯に取り組んでいる。
- ・大学教育を考え直すきっかけになった。
- ・出席率、提出率が改善された。
- ・対面授業と遜色ない。

<欠点>

- ・ノートパソコンに向かって話をすると疲れる

5. 意見・感想（投稿からの抜粋含む）

・緊急事態が終わったあとも、オンライン授業を活用したい。補講などで使えるのではないかな。

・他大学に比べて、Teams で統一している点、サポートもしっかりしている点に、感謝している。学生の混乱も少ない。

・パソコンに向かっていても、楽しそうにしゃべると、学生の反応が変わってきた。

他の先生もおっしゃっていました通り、他大学ではこのような機会もなく各講師に任せられているところがあり、こうして貴重なアドバイスを共有して下さることに心より感謝しております。反省すべき点も発見でき大変有意義な時間でした。大変ありがとうございました。

有意義なセッション、どうもありがとうございました。本学の統一的決定や進め方、対応等に評価いただいた先生とまったく同意見です。こうした機会でうかがわれる各先生方の授業に対する真摯な取り組みにも、頭が下がる思いです。覚書もスピーディに用意いただき恐縮です。当方の獏とした発言の主旨は、これほどの尽力とノウハウの蓄積、見えてきたプラス面もあり、今学期だけですててしまうのももったいないので、来学期以降も、教室内での対面授業時も含めて、何かしらハイブリッドで有効活用できれば、という

ことでした。（先学期から個人的にやっていますが）授業中にチャットを活用するとか、
今まですでに一部で行われているかもしれませんがゲストを物理的に呼ぶ代わりに、リモ
ートで登場いただくとか、Flipgridなども活用して海外の提携校の先生や学生さんと交流
するとか。 あらため御礼申し上げます。

2021/1/28 冬季 FD

第 1 分科会（講義型授業）

第 1 分科会では、参加者のみなさんに一年間の授業の振り返りをしていただき、オンライン授業やハイブリッド授業の利点と問題点を指摘していただいた。全員の意見を伺えた一方で、全体議論の時間をほとんどとれなかったのが反省点である。以下、いただいたご意見を授業ごとにまとめた。

1. 基礎ゼミナール（1 年次春学期必修科目）

<利点>

- ・ Word や PowerPoint の使い方を指導しやすかった。録画機能があるので、わからない学生は何度でも確認することができるため。
- ・ 顔が見えない分、課題への返事を丁寧にするようにした。その結果、授業アンケートの満足度は例年より高かった。

<問題点>

- ・ 学生が使っているデバイスによって、課題のやりやすさ、やりにくさが生じた。特に、スマートフォンを使っている学生は、授業を聞く、Word で文章を書く、の両方をするのが難しい。

2. 卒論・ゼミ

<利点>

- ・ 対面とオンラインの差は感じなかった。議論も活発にできた。

<問題点>

- ・ ゼミが（発表）先生と学生の一対一の対応になってしまう。
- ・ オンラインでは意思疎通が難しかった。対面授業の重要性を認識した。

<授業上の工夫>

- ・ 指導は研究室に来てもらい、対面で個別指導。短時間で要点を絞って指導できた。
- ・ 最後の授業では就活について、3, 4 年生で議論ができた。
- ・ 1 回の授業で 4, 5 名に発表してもらった。学生同士の議論ができなかったので、学生それぞれにチャンネルを作って意見や感想を書いてもらった。

3. 講義系授業

3.1 250 人以上（ライフイベント）

<利点>

- ・ 大人数の授業は意見や質問が多く出て、やりやすかった。

- ・ライブイベントでは、チャットでの質問が出る。説明がしにくいときは、会議に移動して説明をした。
- ・前の席と後ろの席の区別がない。距離感が近い。

<問題点>

- ・対面授業よりたくさんの質問が寄せられたが、Q&Aだとクラス全体での回答の共有が難しかった。
- ・タイムラグができてしまう。

<授業上の工夫>

- ・クイズに答えるのに挙手機能を用いた。

3.2 100人～249人

<利点>

- ・会議システムは学生が反応をくれた。授業後も質問受けをした。

<問題点>

- ・230人の授業だとコミュニケーションが難しい。グループワークができなかった。授業をしながらチャットを確認するのが難しかった。相手の顔が見えないので、やりにくい。モチベーションのつなぎ方が難しかった。
- ・チャットで意思疎通がしやすかった半面、しすぎる学生もいた。
- ・評価については Teams 上の課題を使ったが、時間通りに配信されなかった。以降は解答用紙だけ事前に配布し、授業中に問題を配信した。
- ・マイクをオンにすると、通信状態が悪くなるので、音読をちゃんとしているかどうか確認ができなかった。

<授業上の工夫>

- ・最後に質問コーナーとして新たに会議を開いた。
- ・ラジオの DJ のように自分自身が楽しくなるような話し方を工夫した。
- ・インプットとアウトプットのバランスをとるよう、グループワークを取り入れた。
- ・授業終了時に必ずレポートを書いてもらい、フリーライダーが出ないようにした。

3.3 約100人

<利点>

- ・課題の提出率、内容が良かった。
- ・講義というよりはアクティブラーニング。学生たちにグループ発表をさせた。主体的な

学習ができていたと思う。

3.4 100人未満

<利点>

- ・コミュニケーションが多かった。
- ・外部講師にお願いしやすいシステムだった。
- ・DVDの映像を流しやすかった。
- ・授業評価が対面よりも良かった。対面では講義をしている間寝ている学生もいて、講義をしている側のモチベーションが下がるが、オンラインでは学生が見えないのでモチベーションが下がることがなかった。

<問題点>

- ・板書で授業をする先生は大変だったと思う。

<授業上の工夫>

- ・双方向性を心掛けた。出欠の確認は口頭で行い、グループワークを取り入れた。
- ・画面を見続けている学生に配慮した。休憩をこまめに入れるのが好評だった。
- ・集中力が続くように、休憩をはさんで、授業を2部構成にした。
- ・学生を追い込まずに緩やかに授業をした。
- ・板書はWordの白紙を利用した。
- ・音読の授業は、一人の学生にやってもらって、ほかの学生が追随するという方法でやった。
- ・夏休み中にオンラインで授業をした。書画カメラを使い、ホワイトボードで説明した。インタラクティブな授業ができないので、授業のあと質問タイムを設けた。授業中に会議チャットに挙げられていた質問に応えた。アンケートでは「受け身な授業だった」と答えた学生がいたので、春休み中はグループワークなどインタラクティブな授業をしたいと思っている。(ランゲージセンター)

3.5 すべての授業サイズ共通

<問題点>

- ・問い合わせが多くて、その対応に追われた。授業時間外も。授業内で全体に向けて質問するようになって、チャットですてくる学生もいる。
- ・オンラインだと情報量が多くなりがちだった。
- ・知識を問う問題は、検索出来てしまうため、テストはカンニングしている学生もいるだろう。
- ・成績評価が難しかった。

- ・学期中に2, 3回課題（昨年まではテストとして行っていたもの）を復習問題として宿題にしたが、提出ファイルを共有している学生もいるようだ。
- ・メンタルに不調をいたした学生もいた。
- ・学生の名前が Teams では英語、名前と名字が逆になっている学生もいる。Forms では日本語で表示されるため、学生特定が大変だった。
- ・アドバイジングで「オンラインの授業でどうやって先生に質問したらいいですか」と聞いてきた1年生が複数いた。このような質問が来たのは初めて。（ランゲージセンター）

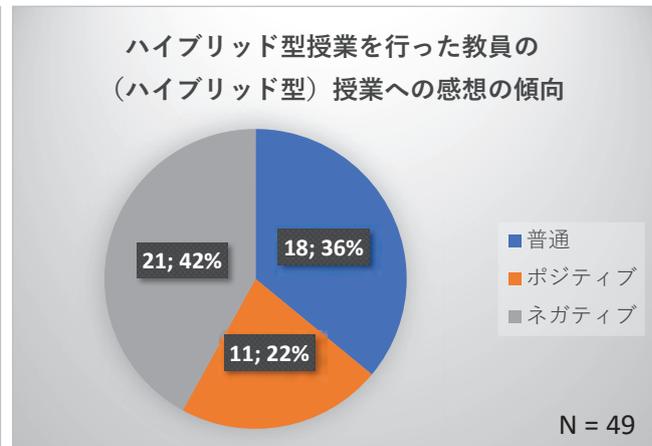
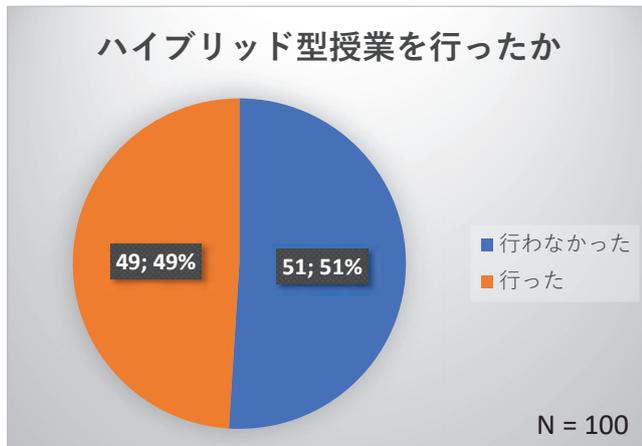
3. 出席確認に関して

- ・出席は出席管理システムを使った。「入れませんでした」という学生が多いが、出席状況は、課題の出来に反映されるため、結果として成績に影響する。
- ・「通信障害で出席登録できない」と連絡してくる学生が多い。
- ・通信トラブルを申告する学生が多い。本当なのかともやもやする。
- ・入退出レポートを活用して出席を管理した。
- ・出席管理システムで、最初と最後に出席を取った。合わせて時々課題を出した。

4. ハイブリッド授業に関して

- ・ハイブリッド授業をやってみて、対面の良さを痛感した。学生の反応が見えるのがいい。ただ、対面の学生への対応がオンラインの学生に伝わりにくかった。

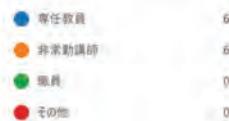
8. 秋学期ハイブリッド型授業を実施された先生方に伺います。ハイブリッド型授業における問題点や工夫をお聞かせください。ハイブリッド授業を行わなかった先生方は「行わなかった」とご入力ください。



冬季FDアンケート結果 (N=125)

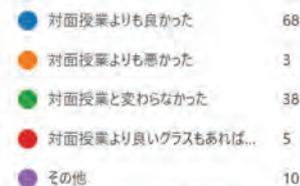
1. 属性を選択してください

詳細



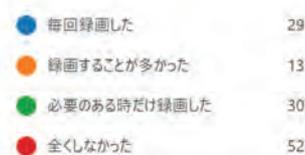
2. 昨年度までの対面授業と比べて、オンライン授業への学生の出席率はどうでしたか？

詳細



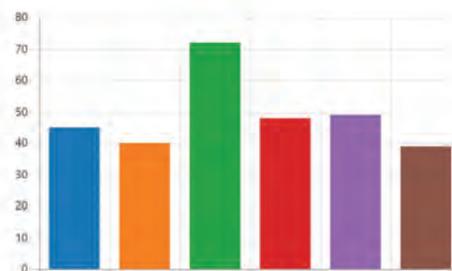
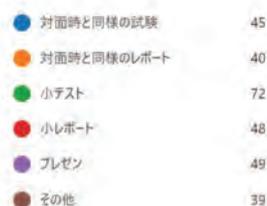
3. 春学期の途中から、授業の録画は任意になりましたが、その後も授業の録画はしましたか。

詳細

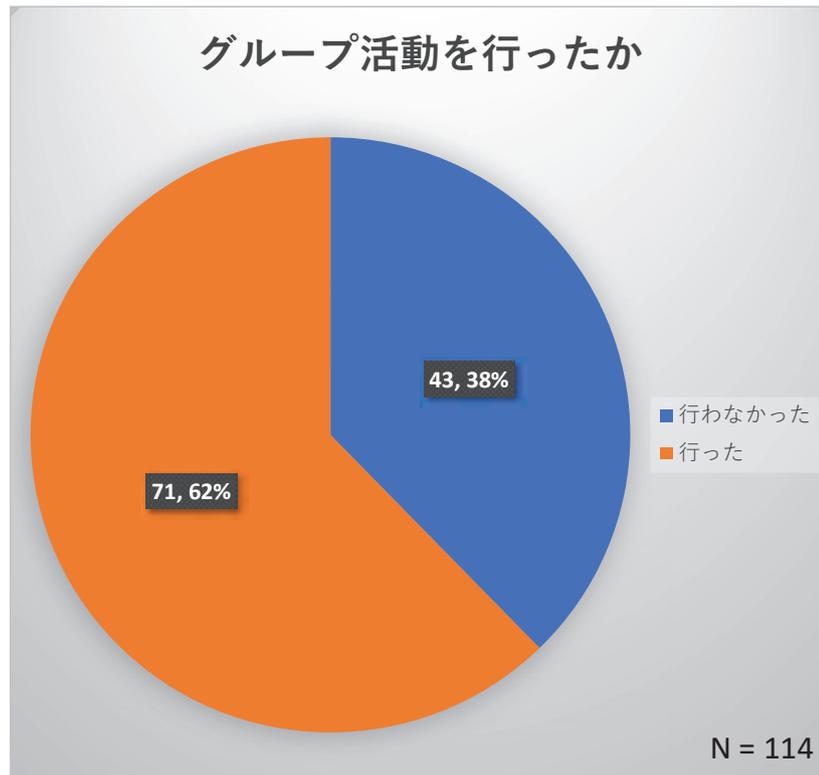


4. 成績評価はどのように行いましたか。該当するものをすべて選んでください。

詳細



6. グループ活動はどのように行いましたか。工夫点や問題点なども含めてご入力ください。グループ活動を行わなかった方は、「行わなかった」とご入力ください。



<質疑応答まとめ>

回答者	質問	回答
岩崎先生	学生への課題が多いという点だが、単位の定義によれば、実はそれが本来の姿なのではないか。	それが良いと考える大学はあった。関大のアンケート結果では学生によって課題の量が違う状況があった。あまりに多いのは問題であると考えている。課題の量については教員間で相談が必要である。
岩崎先生	教員によってオンライン授業で使っているツールが異なることを問題点として挙げているが、対面授業であっても授業スタイルは教員ごとに異なるので、統一の必要性はツールに慣れていない時期だけではないか。	アンケート結果では大学が提供する公式のシステム以外に、教員が授業目標に合わせてフリーのアプリやシステムを授業で利用している教員が多いことが分かった。学生はどの授業でどのアプリを使っているのかわかりにくい状況があった。
岩崎先生	オンライン授業では、先生に質問しにくいということだったが、自分が関わった授業に関してはオンライン化で逆に24時間体制で対面よりも学生が質問をしてくるようになった。	そういう授業もあると思うが、アンケートの結果を見ていくと、43%の学生が質問しにくいと答えていた。先生の授業のやり方にもよるかもしれない。学生がどこで躓いているのか教員が把握することが必要。
岩崎先生	教育開発支援センターの教員と職員は、春学期は在宅ワークで対応されたのでしょうか？	4月は大学勤務も多かった。落ち着いてからは在宅になった。 ただし、授業支援のグループは在校していた。
岩崎先生	ライブ配信を交えたハイブリットは、環境整備が大変と想像しておりますが、何かサポート実績やノウハウはお持ちでしょうか？	本学の場合は、秋学期は原則対面授業であった。ただし、対面の授業でも配慮の必要な受講生がいる場合は、ライブではなくオンデマンド配信をするように対応していた。ご自身でライブ配信をされた先生もおられた。

回答者	質問	回答
松浦先生	<p>徳島県は ICT に力を入れている県であると（ニュースレベルですが）聞いたことがあります。徳島県下の大学として、その恩恵はありましたでしょうか？</p>	<p>ICT への注力度が高い県という認識についてはその通りと考えている。関西圏からの学生も比較的多いが、下宿先を選ぶときに、ネットワーク環境があることをポイントの一つにしているといった話も聞き及んでいる。</p>
松浦先生	<p>「理系」大学の特性の一つに、実験や実習など、遠隔ではできない授業が多く含まれるということがあると思います。そのような授業に対してはどのように対応されていましたか。</p>	<p>医療系や理工系の学部は実験、実習が多いと認識しているが、一部には VR を授業に導入という例も出ている。実験機材を要するようなケースにおいては、遠隔実施期間と対面実施期間との間で、前者には座学系の内容、後者には実際の実験というように組み換えで工夫することもある。大学端末室のような共通の環境を前提にしないとできない遠隔でのプログラム実習などでは、履修生側の実行環境を整えるのは大変で、OS ごとのマニュアルを作って事前配布して当日までにやってもらうなども行ったが、当日できていない履修生には授業直前あるいはその場で即時支援するなど必要だった。</p>
松浦先生	<p>沢山の学習支援ツールを導入されていますが、運用実績として特に使われていた（好評な？）ツールや機能は顕在化しましたでしょうか？あるいは、皆、まんべんなく各ツールや機能を活用していたという印象でしょうか？</p>	<p>沢山のツールはあっても、全学的な提供という意味では、機能的にはある程度統一感のあるものとして運用されている。Microsoft Teams は日常の様々な用途に用いられるツールとなった。一定の好評を得たのは Stream サービスであったと感じている。</p>

回答者	質問	回答
西野先生	<p>「遠隔授業類型と各型の特徴」の「ライブ中継型（同期）」でクラスサイズとの相性が×となっているのは何故ですか？</p>	<p>同期型はカメラ映像やマイク音声を活用することとなり通信負荷が大きくなり、結果的に学生や教員側の通信が切れてしまう危険性が高まるため、特に大規模授業では用いない方が無難であるという理由で×にしている。また、マイクをオンにしている学生の雑音が入ってしまったたり、その他多様なトラブルが発生しても教員が対応しきれなかったりというのも理由として挙げられる。</p>
西野先生	<p>4th ステージで「対面授業をライブ配信する方法」（ハイフレックス）のガイドブックを作成し、学習会も実施されておりますが、後期は実際にどのぐらいの授業でハイフレックス方式で授業を実施されましたか？また実施の際の教員のサポート体制はどのようになっていますか？</p>	<p><全員への質問の2つ目の質問でまとめて回答></p>
西野先生	<p>授業アンケートの回収率は本学でも対面実施時と比較すると、20%近く低下しております。授業アンケートをオンライン実施する際の回答率の維持に関して、対策されたことはありましたでしょうか。</p>	<p>対面時であれば、教室に張り紙をするなどの対応ができるが、オンラインではそれはできず、各教員からのアナウンスも弱くなったことが要因と考えられる。今回はできなかったが、今後の対策として、アセスメントポリシーの中で授業アンケートの活用を明言するなどし、組織的に授業アンケートを各科目でとることがあたりまえの状況を作っていくことができればと個人的には考えている。</p>

回答者	質問	回答
石川先生 中原さん	<p>本学では語学教育の先生から Microsoft Teams は不評（音声 が鮮明にやりとりできない） だったのですが、貴学ではそ のような問題はありませんで したか？</p>	<p>実際にそうだと思う。特に英語以外の言語を担当 されている先生方から、個別の単語の発音チェッ クができないという意見があった。音読に変える など、Microsoft Teams でもできる練習の仕方 に変えることをお勧めした。グループワークでは、 音声途切れることもなく、先生が各グループに 割って入っても問題なかった。</p>
松浦先生 石川先生	<p>今年度当初は、ラスト 1 マイ ル問題が浮上してきたかと思 いますが、学生がブロードバ ンドの契約をしても工事が 2 か月待ち、WiFi ルータ・ヘッ ドセットの品切れ等、学生が 環境を整備をしようとしても できなかった、という状況に はなりませんでしょうか。</p>	<p>（松浦先生）徳島県は全国トップクラスのブロー ドバンド普及率を誇る。全県に広帯域網が整備さ れていると考えてよい。一方、物品が品薄だった のも経験していて、ヘッドセットが品薄などの状 況は他と同様だったと考える。環境（NW や PC 等）が十分でない学生の方々には、大学での環境 提供を案内していた。</p> <p>（中原さんが回答）そのような学生に対しては、 大学に来てくださいと伝えた。大学のパソコンを 使って授業を受けるようにしてもらった。6 月ま でに 2、3 人が利用した。ヘッドセットは大学から レンタルということで送った。ハイフレックス授 業に必要な Web カメラなどは入手が困難だった。 Amazon をまめにチェックして手配した。</p>

回答者	質問	回答
<p>全員</p>	<p>丁寧なご報告まことにありがとうございました。</p> <p>緊急対応においては各学校内の専門機関・専門人材の存在が大きかったことが分かりましたが、今後、高等教育機関全体の教育力向上や ICT 対応力の向上を図るためには、たとえば「大学コンソーシアム」のような場を活用して、専門的な機能を大学間（あるいは地域内）で共有することのメリットも検討するべきだと考えます。</p> <p>皆さまのご意見を賜れば幸いです。</p>	<p>（岩崎先生）私も同じことを考えている。各大学で共通している作業も多い（教材の作成など）ので、今後誰でも使えるようなものを組織や学会で出していく必要があるのではないか。</p> <p>（松浦先生）コンテンツや道具立ては大学によって異なるかもしれないが、小テストや確認問題の解答は、大量に集まれば集まるほどいろんなことができるようになって選択肢が増える。今回のコロナ禍を機に、そのようなシステムができればよい。</p> <p>（西野さん）大学間で情報交換をする場があるといい。学外の方とコミュニケーションが取れるのがコンソーシアムのいいところ。</p> <p>（石川先生）語学のクラスで、クラス運営や不正行為を防ぐ小テスト実施方法などについて戸惑いがあった。どのようなアクティビティや小テストがいいのか、他大学の語学を担当されている先生方と情報交換ができるといい。</p> <p>（中原さん）他大学の様子は気になっている。業者を通じて入ってくる情報には限りがある。横のつながりがあるといい。</p>

回答者	質問	回答
全員	<p>グループセッションで、「学年によって遠隔授業の好みや感じ方が違う(4年生は遠隔を好み、1年生は対面への配慮が必要など)」という議論をしました。</p> <p>各大学で学年により対応を変えた、あるいは21年度は変えたほうが良いなどの方針やお考えなどありますでしょうか。</p>	<p>(岩崎先生) 2020年度は初年次教育に関しては大学に来て授業を受けるということを実施した学部もあった。2020年秋学期以降、関西大学では、原則対面で授業を行っているので、学年によって対応を変えているということはない。</p> <p>(松浦先生) 学年という切り口では、入学年度がBYOD実施後であったかどうかで対応に際しての量的な部分が異なるといった状況はあるものと考えている。一方、どちらかという学部等の運用の違いを重視した方が良いケースにおいては、部局毎にある程度裁量で動ける部分があった方が良い側面もあるものとする。</p> <p>(西野先生) とにかく1年生向けの対応を、授業以外で強化した。1年生は入学式もなく、友達もいないという不安な状況だったと考え、4月末からゴールデンウィークにかけて1年生向けの交流会をZoomを使って開催していた。また、ゴールデンウィーク以降はメンター制度を導入して、先輩学生が後輩学生数名を担当し、問題がないか確認したり、相談にのったりしてもらおうようにしていた。学科によっては、学科別の交流会をやったり、勉強会を開催したりなど、オンラインの企画を学生主体で実施したところもあったようだ。</p> <p>(石川先生) 本学では、学年ごとで対応を変えていない。また来年度は原則対面授業になるので、今年度問題になったような1年次生への配慮も必要なくなり、そのような議論は今のところない。</p>

回答者	質問	回答
<p>全員</p>	<p>すでに資料でご提示いただいていたかも知れませんが、オンデマンド型、ライブ中継型について、学生さんたちの反応はいかがだったでしょうか。</p>	<p>(岩崎先生) いずれもおおむね好評だった。単に授業を自宅で受けられるということに加えて、映像プラス学習活動が行われていた点がよかったというのが上位学年の学生スタッフへのヒアリングで明らかになっている。双方向性や自分の活動を小テストで確認できる、先生からのフィードバックがあるという、自分の理解度を確認できるという点も評価されており、良かったのではないかと思います。</p> <p>(松浦先生) オンデマンド型の方は再視聴可という面、またライブ中継型の方は即時質疑可という面にそれぞれ利点を感じていたものと思われる。</p> <p>(西野先生) 授業アンケートの結果を見ると、同じオンデマンド型でも、テキスト型<音声型<映像型の順に評判が良かった。またオンデマンド型<ライブ中継型の部分もあったが、必ずしもそう言い切れないところもある。なぜなら、ライブ中継型はトラブルの原因にもなりやすく、上手く受講できない学生がでてきてしまったりすることもあるため。</p> <p>(石川先生) 本学では、今年度春学期は同期型の双方向性の授業かライブ中継型の授業でしたが、ライブ中継型の授業を行った先生方から、学生の反応について特に問題点などを伺っていない。</p>

回答者	質問	回答
<p>全員</p>	<p>報告書での回答で構いません。 ブレイクアウトセッションで、「期末試験」の不正行為防止について議論がありました。 レポートなどの課題ではオープンブック的な手法が可能ですが、教員の負荷も高いです。 知識確認テキストなど採点が機械的にできるような「期末試験」の実施について、よいアイデアがありましたら、ご教示いただけましたら幸いです。</p>	<p>(岩崎先生) オンラインで知識確認テストの採点を厳密に行うことには限界がある。 学生のオリジナリティがある意見を出せるような課題をどうするのかを考える評価方法を、新たに採用する段階にきているのかもしれない。</p> <p>(松浦先生) 不正行為防止ということではいずれかの online proctoring system の導入・利用するといったことも検討の一つかと考える。また自由記述形式などでは、その分析手法の提案も多数なされているところであるが、入力テキストをクラスタリングしておくなど比較的容易に実現できる前処理をしておくだけでも負荷軽減に繋がるものとする。</p> <p>(西野先生) 本学ではそもそも期末試験は禁止ということになったのでやっていない。他大学からは、とにかくカンニングなどしていたら時間内に終わらないような量の問題を出す、問題の順はランダムに変わるよう設定していた、カメラで本人の映像を映させながら行う、期末試験だけでは対面で行った、などの事例を聞いたことがある。</p> <p>(石川先生) この件は大変難しいと感じているところ。先の質問の回答を重なるが、この件について他大学の先生方と情報交換ができる場があるといいと感じている。</p>